

		課長		課長補佐		課長補佐		係長		係員		検算		担当		
工 事 名		令和7年度 安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所 解体工事													設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 明科中川手														
設 計 概 要								施 工 方 法				請 負				
○安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所の解体工事一式 ・旧詰所 混構造 2階建て1棟の解体 ・同敷地内、火の見櫓の解体 ・同敷地内、防火水槽(地下埋設)の撤去 ・解体撤去後、敷地内の整地								施 工 期 間				契約日～令和8年3月23日				
								担当課				危機管理課 消防防災係				
								工事担当課				財産管理課 施設経営担当				
								契約保証方法				金銭的保証				
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。								

令和 7 年度 安曇野市消防団第 6 分団第 1 部
旧詰所解体工事

工事場所

第6分団第1部詰所

1:2,500

0 45 90 180 m

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事						
		総 括 表					
I	直接工事		1.00	式			
	直接工事費計						
II	共通費						
	共通仮設費 指定仮設		1.00	式			
	比率計上		1.00	式			
	純工事費						
III	現場管理費		1.00	式			
	工事原価						
IV	一般管理費		1.00	式			
	積算価格						
	工事金額						
V	消費税						10%
	総合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ-A	指定仮設						
		科目内訳書					
1	共通仮設費 指定仮設		1.0	式			
	Ⅱ-A. 合 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	指定仮設						
	交通誘導員	8(解体)+2(給排水切離分)人工想定	10.0	人			
	仮囲い	成形鋼板 H3.0 3ヵ月	29.0	m			
	仮囲い	ガードフェンス W3.0*H1.8 3ヵ月	20.7	m			
	伸縮ガード	W3.0*H1.8 3ヵ月	1.0	基			
	進入路養生 鋼板敷込み	鋼板t22 3ヵ月 車輛切り返し部分	55.7	m ²			
	1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費	数量は参考数量					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	事前撤去		1.0	式			
3	解体工事		1.0	式			
4	分別・収集・積込		1.0	式			
5	発生材運搬費		1.0	式			
6	発生材処分費		1.0	式			
	参考：事前撤去物明細添付						
7	給水管閉栓、公共樹切離工		1.0	式			
	A. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	外部足場	ｸﾞﾙｰﾌﾟ 緊結式足場手摺先行建地幅600mm期間3ヵ月	412.0	㎡			
	防音ｼｰﾄ		412.0	㎡			
	解体用重機		2.0	回			
	高所作業車		1.0	日			
	ｸﾚｰﾝ車		1.0	日			
	埋戻し	砕石	41.0	m3			
	整地	敷地全体	203.0	㎡			
	解体後侵入防止柵 松丸太	φ120*2m打込@2.0m	21.0	本			
	ﾄﾚｰﾎﾟ	φ12*2段	80.0	m			
	設置作業費		1.0	式			
	直接仮設小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	仮設養生						
	外部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 アスファルトルーフィング	106.0	m ²			
	外部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 外壁ラス下地モルタル塗装	532.0	m ²			
	外部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 ベランダ防水シート	112.0	m ²			
	内部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 内壁ラス下地モルタル塗装	190.0	m ²			
	内部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 クッションフロア	23.7	m ²			
	内部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 塩ビシート	3.3	m ²			
	内部 アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 巾木タイル	1.0	式			
	アスベスト含有材撤去養生	アスベストL3 副資材消耗品費	1.0	式			
	アスベスト含有材撤去養生	同上処分費	1.0	式			
	仮設用水		1.0	式			
	仮設養生小計						
	1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	事前撤去	(事前撤去物明細参照)					
	解体、撤去 電気消防設備機器類		1.0	式			
	解体 内外設備機器		1.0	式			
	分別収集積込 電気消防設備機器類		1.0	式			
	分別収集積込 内外設備機器		1.0	式			
	運搬 電気消防設備機器類		1.0	式			
	運搬 内外設備機器		1.0	式			
	処分 内外設備機器		1.0	式			
	処分 電気消防設備機器類		1.0	式			
	建物内外残置物	混合廃材、家具備品類	2.0	m3			
	電気配線引込切断処理	端部処理共	1.0	式			
	給水管引込切断処理	端部処理共 別途工事	1.0	式			
	排水管引込切断処理	端部処理共 別途工事	1.0	式			
	2. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	解体工事						
	上屋 混構造解体	(下記項目以外)	144.0	m ²			
	火の見櫓		1.0	基			
	本体 基礎コンクリート解体	有筋	52.9	m3			
	デッキプレートスラブ コンクリート	有筋	7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.1	m3			
	外部 屋根板金解体		106.0	m ²			
	アスファルトルーフィング	アスベストL3	106.0	m ²			
	屋根下地板	合板類	106.0	m ²			
	屋根下地鉄骨解体	C鋼母屋	89.2	m ²			
	外壁モルタル	アスベストL3	279.0	m ²			
	アルミサッシ建具		27.5	m ²			
	ベランダ 防水シート	アスベストL3	22.0	m ²			
	断熱材GW	t50	70.9	m ²			
	断熱材スタイロ	t50	47.2	m ²			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	内部 木製建具		42.6	m ²			
	建物内装撤去	天井 石膏ボード類	133.0	m ²			
	建物内装撤去	天井 合板類	18.2	m ²			
	建物内装撤去	内壁 石膏ボード類	113.0	m ²			
	建物内装撤去	アスベストL3 内壁 モルタル塗装	190.0	m ²			
	建物内装撤去	内壁 合板類	19.2	m ²			
	建物内装撤去	内壁 トイレブース	2.2	m ²			
	建物内装撤去	内壁 タイル	7.5	m ²			
	建物内装撤去	アスベストL3 床 タイル巾木	1.0	m ²			
	建物内装撤去	アスベストL3 床 クッションフロア、塩ビシート	27.0	m ²			
	建物内装撤去	床 フローリング	6.6	m ²			
	建物内装撤去	床 合板類	10.2	m ²			
	建物内装撤去	床 畳	38.9	m ²			
	その他 オーバーサイズター	6360*3400	1.0	基			
	スチールシャッター	1500*2400	1.0	基			
	雨水排水溝	W180	9.0	m			
	3. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	分別・収集・積み込み						
	コンクリート塊	有筋	57.0	m3			
	コンクリート塊	無筋	8.0	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート		7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.1	m3			
	木材	構造材系	3.5	m3			
	木材	羽柄その他	5.5	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ラス下地モルタル	5.6	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ベランダ床防水シート	0.1	kg			
	建物外壁撤去	断熱材GW	35.5	m3			
	建物外壁撤去	断熱材スタイロ	2.4	m3			
	フローリング	t12	0.1	m3			
	木製建具		1.3	m3			
	内装材	天井 石膏ボード	1.2	m3			
	内装材	天井 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 内壁 ラス下地モルタル	3.8	m3			
	内装材	内壁 石膏ボードt12	0.8	m3			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	内装材	内壁 ラスボード	0.1	m3			
	内装材	内壁 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	内壁 トイレブース	0.1	m3			
	内装材	床 磁器質タイル	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 床 クッションフロア、塩ビシート	0.1	m3			
	内装材	床 畳	2.3	m3			
	内装材	アスベストL3 床 タイル巾木	1.0	式			
	金属類	屋根材カラー鋼板	585.0	kg			
	金属類	雨樋水切りその他板金系	109.0	kg			
	金属類	鉄骨H鋼	11.5	t			
	金属類	アングル、C鋼関係	1.4	t			
	金属類	アングル、C鋼関係	1.5	t			
	金属類	アルミサッシ枠	133.0	kg			
	木くず	ガラ板、サ、枠、巾木廻り縁	3.1	m3			
	ガラス		108.0	kg			
	タイル・陶器類		165.0	kg			
	アスファルトルーフィング	アスベストL3	109.0	kg			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	下地合板	t12	1,261.0	kg			
	タミ	t60	17.5	枚			
	オーバースライダー	300*300	1.0	基			
	スチールシャッター		1.0	基			
	排水溝W180		90.0	kg			
	4. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	発生材運搬費						
	コンクリート塊	有筋	57.0	m3			
	コンクリート塊	無筋	8.0	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート		7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.20	m3			
	木材	構造材系	3.5	m3			
	木材	羽柄その他	5.5	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ラス下地モルタル	5.6	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ベランダ床防水シート	0.1	kg			
	建物外壁撤去	断熱材GW	35.5	m3			
	建物外壁撤去	断熱材スタイロ	2.4	m3			
	フローリング	t12	0.1	m3			
	木製建具		1.3	m3			
	内装材	天井 石膏ボード	1.2	m3			
	内装材	天井 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 内壁 ラス下地モルタル	3.8	m3			
	内装材	内壁 石膏ボードt12	0.8	m3			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	内装材	内壁 ラスボード	0.1	m3			
	内装材	内壁 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	内壁 トイレブース	0.1	m3			
	内装材	床 磁器質タイル	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 床 クッションフロア、塩ビシート	0.1	m3			
	内装材	床 畳	2.3	m3			
	内装材	アスベストL3 床 タイル巾木	1.0	式			
	金属類	屋根材カラー鋼板	585.0	kg			
	金属類	雨樋水切りその他板金系	109.0	kg			
	金属類	鉄骨H鋼	11.5	t			
	金属類	アングル、C鋼関係	1.4	t			
	金属類	アングル、C鋼関係	1.5	t			
	金属類	アルミサッシ枠	133.0	kg			
	木くず	ガラ板、サ、枠、巾木廻り縁	3.1	m3			
	ガラス		108.0	kg			
	タイル・陶器類		165.0	kg			
	アスファルトルーフィング	アスベストL3	109.0	kg			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	下地合板	t12	1,261.0	kg			
	タミ	t60	17.5	枚			
	オーバースライダー	300*300	1.0	基			
	スチールシャッター		1.0	基			
	排水溝W180		90.0	kg			
	5. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
6	発生材処分費						
	コンクリート塊	有筋	57.0	m3			
	コンクリート塊	無筋	8.0	m3			
	デッキプレートスラブコンクリート		7.9	m3			
	階段踏み面モルタル		0.20	m3			
	木材	構造材系	3.5	m3			
	木材	羽柄その他	5.5	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ラス下地モルタル	5.6	m3			
	建物外壁撤去	アスベストL3 ベランダ床防水シート	0.1	kg			
	建物外壁撤去	断熱材GW	35.5	m3			
	建物外壁撤去	断熱材スタイロ	2.4	m3			
	フローリング	t12	0.1	m3			
	木製建具		1.3	m3			
	内装材	天井 石膏ボード	1.2	m3			
	内装材	天井 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 内壁 ラス下地モルタル	3.8	m3			
	内装材	内壁 石膏ボードt12	0.8	m3			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	内装材	内壁 ラスボード	0.1	m3			
	内装材	内壁 合板類t6	0.1	m3			
	内装材	内壁 トイレブース	0.1	m3			
	内装材	床 磁器質タイル	0.1	m3			
	内装材	アスベストL3 床 クッションフロア、塩ビシート	0.1	m3			
	内装材	床 畳	2.3	m3			
	内装材	アスベストL3 床 タイル巾木	1.0	式			
	金属類	屋根材カラー鋼板	585.0	kg			
	金属類	雨樋水切りその他板金系	109.0	kg			
	金属類	鉄骨H鋼	11.5	t			
	金属類	アングル、C鋼関係	1.4	t			
	金属類	アングル、C鋼関係	1.5	t			
	金属類	アルミサッシ枠	133.0	kg			
	木くず	ガラ板、杉、桧、巾木廻り縁	3.1	m3			
	ガラス		108.0	kg			
	タイル・陶器類		165.0	kg			
	アスファルトルーフィング	アスベストL3	109.0	kg			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	下地合板	t12	1,261.0	kg			
	タミ	t60	17.5	枚			
	オーバーライダー	300*300	1.0	基			
	スチールシャッター		1.0	基			
	排水溝W180		90.0	kg			
	6. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	事前撤去物明細	※参考数量					
	電気設備工事関連 照明器具	室内直管蛍光灯器具17 外部灯3 その他室内5	25.0	基			
	コンセントスイッチ類	コンセント 13 スイッチ類 18	31.0	個			
	電線類	建物電気配線類	1.0	式			
	誘導灯類	赤色灯 火の見櫓スピーカー	2.0	台			
	TVアンテナ	BSアンテナ1 八木アンテナ1	2.0	台			
	屋内分電盤	1F	1.0	台			
	機械設備工事関連 洋式便器	2F	1.0	台			
	和便器	1F	1.0	台			
	小便器	2F	1.0	台			
	SUS流し台	2550*550 1台 2F	1.0	台			
	手洗器	2F	1.0	台			
	換気扇	壁付 2F	2.0	台			
	給水管		38.0	m			
	排水管		32.5	m			
	不凍栓類		3.0	個			
	ガス配管		2.0	m			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
7	給水管閉栓、公共桝切離工						
	本管部外へ閉栓工事 資材費		1.0	式			別紙1
	配管工費	20mm1口	1.0	式			別紙1
	土工費	舗装切断・取壊し・積込運搬工 掘削・埋戻工、路盤工、アスファルト舗装工	1.0	式			別紙1
	誘導員	2人工 共通仮設に計上	1.0	式			
	宅内部既設量水器ボックス等撤去工		1.0	式			別紙1
	公共桝切離工 配管工費	100A2か所	1.0	式			別紙1
	土工費	舗装切断・取壊し・積込運搬工 掘削・埋戻工	1.0	式			別紙1
	申請手続き費 給水設備申請竣工検査手数料	申請料含む	1.0	式			
	排水設備申請竣工検査手数料	申請料含む	1.0	式			
	運搬費	重機運搬 BH=0.13	1.0	回			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
別紙1	給水管閉栓、公共桝切離工						
	本管部サドル閉栓工事 資材費						
		サドル付分水栓 閉栓キャップ φ 20	1.0	個			
		[安曇野市_上水] 水道用識別マーカ	1.0	個			
		[R6_安曇野市_上水] 埋設シート(市道:配水管用) 青地白文字 2倍折込 W=150mm	1.5	m			
	配管工費						
		硬質塩化ビニル管切断工《据付管切断》 20mm	2.0	口			
		小口径鋼管継手工(ねじ込み接合) 撤去(再使用しない)(0.3) φ20mm	1.0	口			
		小口径鋼管継手工(ねじ込み接合) 設置(1.0) φ20mm	1.0	口			
		管明示シート工(手間のみ)	1.5	m			
	土工費						
		舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	5.00	m			
		舗装版取壊し積込み工 バックホ山0.13	1.50	m2			
		アスファルト塊運搬 As塊・Co塊運搬費[2tDT] 小型バックホ山0.13m3 7.0Km以下	0.10	m3			
		As掘削廃材	0.15	t			
		管路掘削工[小型バックホ] BH=0.13	1.65	m3			
		発生土運搬費[2tDT] 小型バックホ山0.13m3 7.0Km以下	1.65	m3			
		建設発生土処分費	1.65	m3			
		管路埋戻工[小型バックホ] 砂埋め戻し工	0.30	m3			
		管路埋戻工[小型バックホ] RC40-0	0.84	m3			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
		下層路盤工 RC40-0 H=200	1.50	m2			
		上層路盤工 25-0 H=110	1.50	m2			
		アスファルト舗装工(人力) 再生密粒度13F	1.50	m2			
	宅内部既設量水器ボックス等撤去工						
		既設量水器ボックス撤去工	1.00	箇所			
		止水栓撤去工	1.00	箇所			
		量水器撤去工 Φ13	1.0	箇所			
		管路掘削工[小型バックホウ] BH=0.13	0.5	m3			
		機械埋め戻し工 良質土 BH=0.13	0.5	m3			
	公共樹切離工 配管工費						
		配管切断(樹脂管類) 100A	2.0	箇所			
		硬質塩化ビニル管DV継手(排水用) キャップ φ100	1.0	個			
		硬質塩化ビニル管継手工 Φ100mm	1.0	口			
	土工費						
		舗装版切断	4.0	m			
		舗装版取壊し積み込み工 バックホウ0.13m3	1.0	m2			
		アスファルト塊運搬 As塊・Co塊運搬費[2tDT] 小型バックホウ0.13m3 7.0Km以下	0.1	m3			
		As掘削廃材	0.1	t			
		管路掘削工[小型バックホウ] BH=0.13	1.5	m3			
		管路埋戻し工[小型バックホウ] RC40-0	1.5	m3			

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和7年度 安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所 解体工事

2. 工事場所： 安曇野市 明科中川手

3. 工事概要：

- ・ 第6分団第1部旧詰所 混構造 2階建て1棟の解体
- ・ 同敷地内、火の見櫓の解体
- ・ 同敷地内、防火水槽（地下埋設）の撤去
- ・ 解体撤去後、敷地内の整地

4. 工期 契約日 から 令和8年3月23日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内等協議による
駐車場	同上
現場事務所	同上

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共

用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 感染症対策は十分に講じること。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

・建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

~~(10) この工事は執務並行型の工事である。~~

(11) 本工事は、「週休2日工事実施要領」週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は4週8休(通期)を想定した設計単価で積算している)

(12) 本工事は、埋蔵文化財包蔵地に該当するため、文化課文化財保護係と立会日程の調整をすること。(通知書は提出済)

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険 等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。加入しない場合において、その施工について第3者等に損害を及ぼしたときは、受注者がその損害を賠償しなければならない。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

令和7年度 安曇野市消防団
第6分団第1部旧詰所 解体工事

令和7年8月

令和 7 年度 安曇野市消防団第 6 分団第 1 部旧詰所解体工事
(解体工事)

図面リスト

	図面番号	図面名	S C A L E			図面番号	図面名	S C A L E			図面番号	図面名	S C A L E			図面番号	図面名	S C A L E		
			A 2	A 3				A 2	A 3				A 2	A 3				A 2	A 3	
解体工事 （建築意匠図）	A ー 01	図面リスト		non	解体工事 （構造図）	S ー 01	基礎、基礎詳細各図		図示	電気設備工事	E ー			機械設備工事	M ー					
	A ー 02	特記仕様書		non		S ー 02	鉄骨梁伏図		1/100											
	A ー 03	外部・内部仕上表		non		S ー 03	1階 木造床・小屋伏図		1/100											
	A ー 04	位置図、配置図、仮設計画図		図示		S ー 04	2階 木造床・小屋伏図		1/100											
	A ー 05	平面図、面積表		1/100		S ー 05	軸組図用通り芯位置図		1/100											
	A ー 06	立面図		1/100		S ー 06	軸組図01		1/100											
	A ー 07	屋根伏図		1/100		S ー 07	軸組図02		1/100											
	A ー 08	天井伏図		1/100					1/100											
	A ー 09	展開図(1)		1/100																
	A ー 10	展開図(2)		1/100																
	A ー 11	展開図(3)		1/100																
	A ー 12	構造展開図(1)		1/100																
	A ー 13	構造展開図(2)		1/100																
	A ー 14	構造展開図(3)		1/100																
	A ー 15	建具表		1/70																
					解体工事 （意匠図・構造図）	AS ー 01	火の見櫓 各図		1/70											

令和7年度安曇野市消防団第6分団第1部旧詰所解体工事仕様書

I 解体工事概要

1. 工事場所

安曇野市明科中川手6218-9

2. 敷地面積（㎡）

202.62㎡

3. 除却対象物

○建築物

・工作物

・建築設備

・家具等

・樹木

○その他

除却対象建築物等

構造物数

梁間（m）

桁行（m）

建築面積（㎡）

延面積（㎡）

建物本体

混構造

2

74.52

144.08

II 解体工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下、「解体共仕」という。）により、解体共にに記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築物標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年度版）」（以下、「改修標仕」という。）による。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章

項

目

特記事項

1

① 通用基準等

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

○安曇野市建築工事の手引き

安曇野市企画財政部監修

○建築物解体工事共通仕様書・同解説

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）

○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）

○建設副産物適正処理推進要綱（以下「推進要綱」という。）平成14年5月30日国官総第122号

国土交通省大公害災害防止対策要綱 建築工事編 令和元年9月2日国交省告示第496号

○長野県建設リサイクル推進指針

2. 電気保安技術者

※適用する

・適用しない

(1. 3. 3)

3. 施工条件明示項目

・現場説明書

(1. 3. 5)

4. 引渡しを要するもの

※引渡しを要するもの

名 称

仕 様 等

備 考

・現場説明書による

⑤ 解体工事施工技士

本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。

2

① 騒音・粉塵等の対策

・防音パネル

・成形鉄板

○防炎シート、防音シート等

(2. 2. 1)

設置範囲及び高さ
※図示

散水方法

高圧ポンプ等（数水量1名以上常駐）

② 監督員事務所

※設ける

○設けない。

規模

・10㎡程度

・20㎡程度

・（ ）㎡程度

(2. 3. 1)

③ 工事用水

構内既存の施設

○利用できる

◎有償

・無償

※利用できない

④ 工事用電力

構内既存の施設

○利用できる

◎有償

・無償

※利用できない

3

1. 杭の解体

・行う

・行わない

(3. 8. 2)

杭の解体工法

・引抜き工法

・破碎による解体

2. 樹木等

樹木の伐採抜根

・行う（※図示）

・行わない

(3. 9. 1)

③ 地下埋設物

地下埋設物及び埋設配管の解体

○防火水槽

(3. 10. 1)

④ 設備機器等

◎施設内設備（機械室機器 厨房機器 エアコン 等）全て撤去処分

解体事前処理（油類タンク）
◎図示による
・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流出させないように注意する。
・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。
解体事前処理（冷媒）
※図示による
・冷媒を回収した後、撤去を行う機器

図面番号

記号

解体事前処理
※図示による
・グリストラップ槽は、中和洗浄のうえ汚泥収集処分を行う。
解体事前処理（し尿浄化槽、便槽）
◎図示による
・し尿浄化槽、便槽は、汲取り清掃収集処分を行う。
解体事前処理
◎図示による
・雑排水処理槽は、汲取り清掃汚泥収集処分を行う。

2

① 再資源化等

建設廃棄物の種類

中間処理施設又は再資源化施設等

○コンクリート

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

・コンクリート及び鉄からなる建築資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品）

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

○木材

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

・木材（縮減）

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

○アスファルトコンクリート

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

○金属類

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

・小形二次電池

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

○蛍光灯、HIDランプ

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

○廃質塩化ビニル管、継手

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

2. 現場利用する再資源化された建設廃棄物

(4. 4. 1)

名 称

仕 様

数 量

備 考

3. 産業廃棄物広域認定制度の活用

(4. 4. 2)

種 類

所在地

・図示

・現場説明書による

・図示

・現場説明書による

④ 最終処分する建設廃棄物

(4. 4. 4)

名 称

最終処分場の種類

数 量

備 考

○炭石膏ボード

※管理型

・

○アスベスト含有成形板

※安定型

・

レベル3

・アスベスト含有建材

※管理型

・

○アスベスト含有建材

※安定型

・

レベル3

最終処分施設

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

5. 処理に注意を要する建設廃棄物

(4. 5. 1)

名 称

仕 様

数 量

備 考

・特定炭石膏ボード

・CCA処理木材

最終処分施設

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

「特定炭石膏ボード」とは、次の工程で製造された石膏ボード製品が廃棄物となったもの。
①U素混入石膏ボード
商 品 名：タイガーボード
工場名：小名浜吉野石膏㈱いわき工場 裏面表示マークは「吉野石膏OY」
製造期間：昭和48年3月～平成9年4月
JIS許可番号：277057、277058
ロット番号：03730000000000～04970000000000
②カドミウム混入石膏ボード
商 品 名：アドラせっこうボード
工場名：日東石膏ボード㈱八戸工場 裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」
製造期間：平成4年10月～平成9年4月
JIS許可番号：265023、265024
ロット番号：A4Y410～A9430

5

1. 施工調査

(5. 1. 3)

分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類

採取する部位又は箇所等

採取する数量

備考

・安定器（PCB）

・図示

・箇所

適宜

モニタリング

・

・図示

・箇所

PCB含有シーリング分析調査

(5. 4. 4)

・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。

絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定（電気技術定規EAC1201-1991）」により行う。

焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「産業廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱（平成13年4月25日付基安発第20号）」により行う。

2. 特別管理産業廃棄物の処理

(5. 4. 1)

特別管理産業廃棄物の種類

仕 様

数 量

備 考

・炭石膏

・廃油

・廃酸

・炭アルカリ

処理施設

※監督員の承諾する施設

・図示

・現場説明書による

引渡しを要する機器類

・

(5. 4. 3)

撤去方法

※「標準施工要領書（日本シーリング工業協会共同組合会合会／日本シーリング材工業会）」による。
・

撤去範囲

※図示

・

5. 特殊な建設副産物の改修及び処分

(5. 5. 1)

回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類

対象機器名称

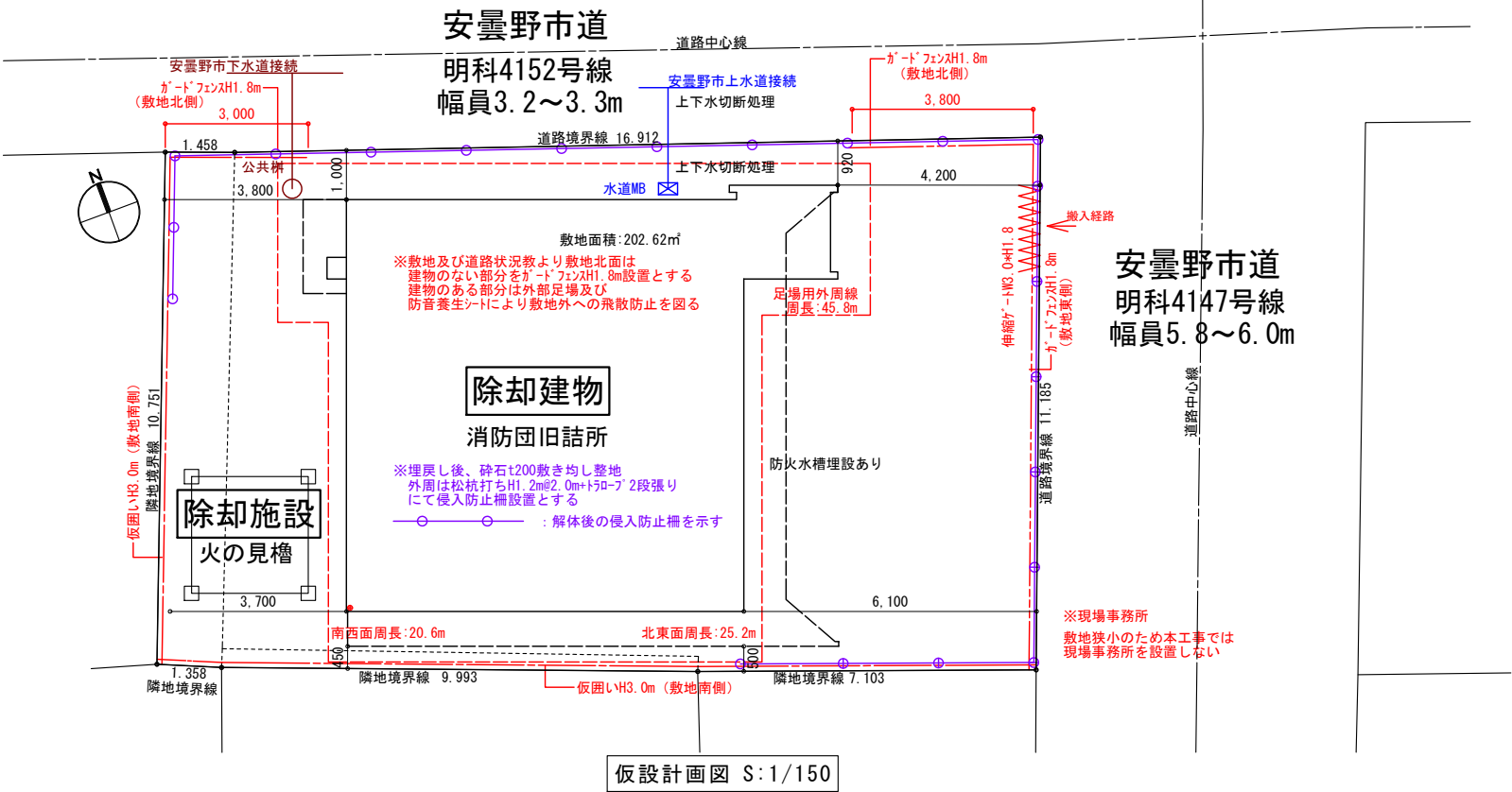
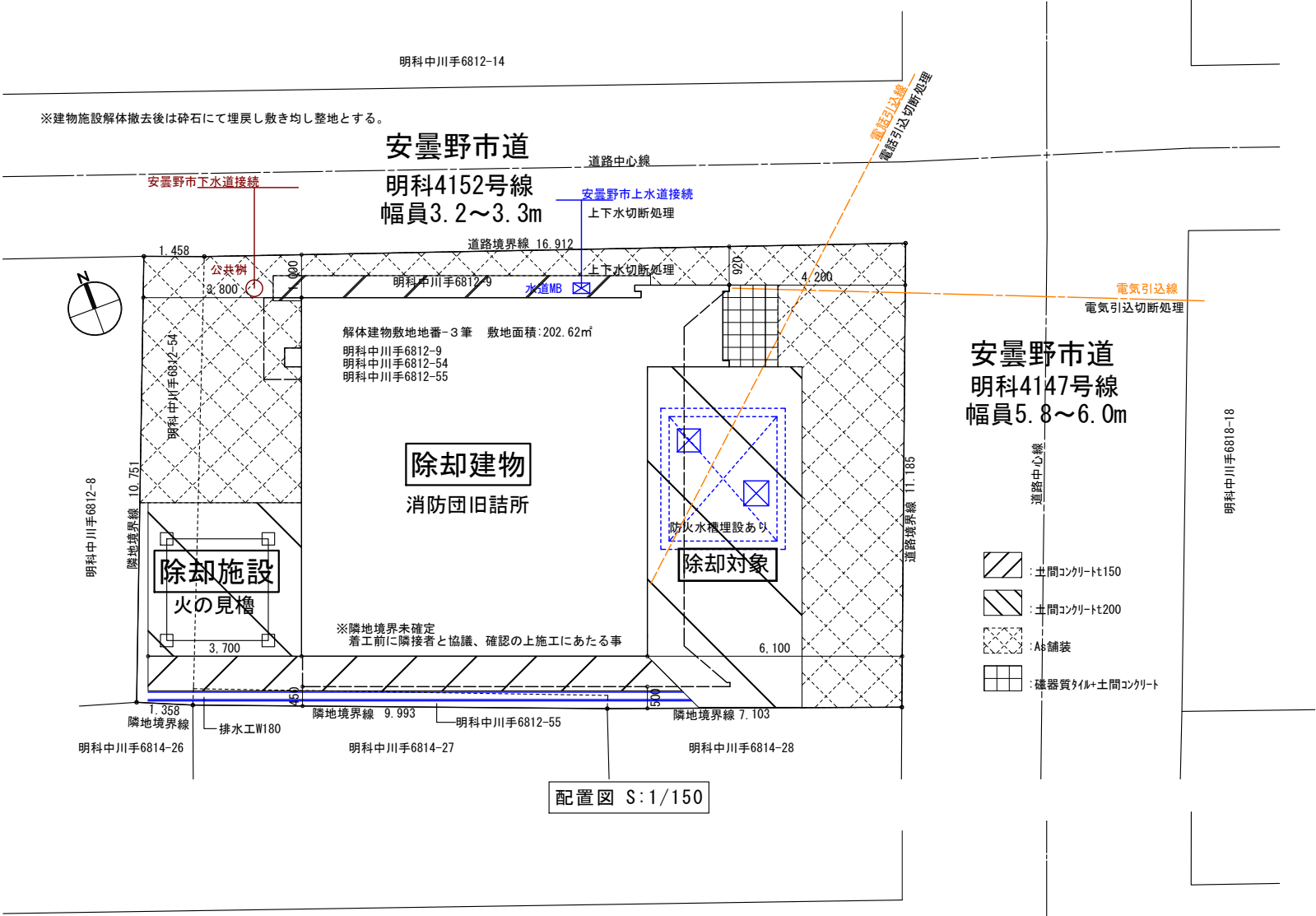
回収業者又は処分場の名称</

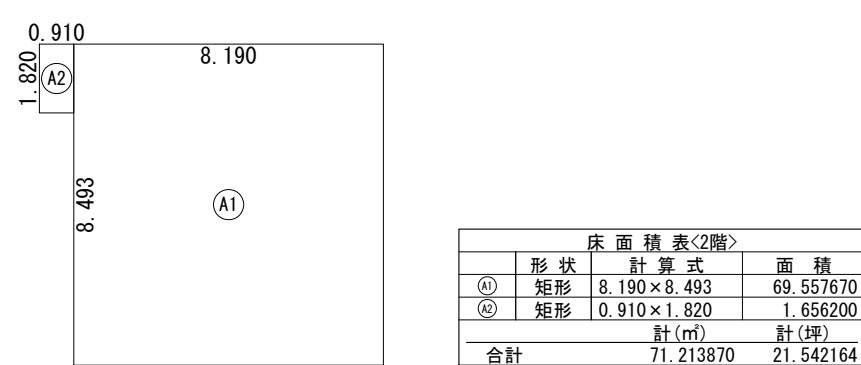
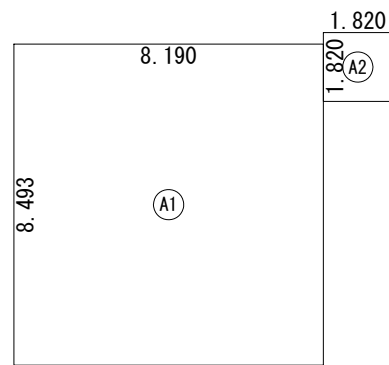
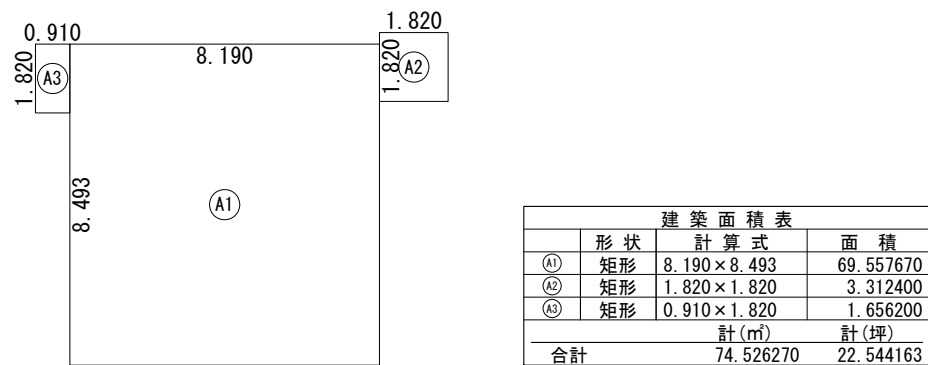
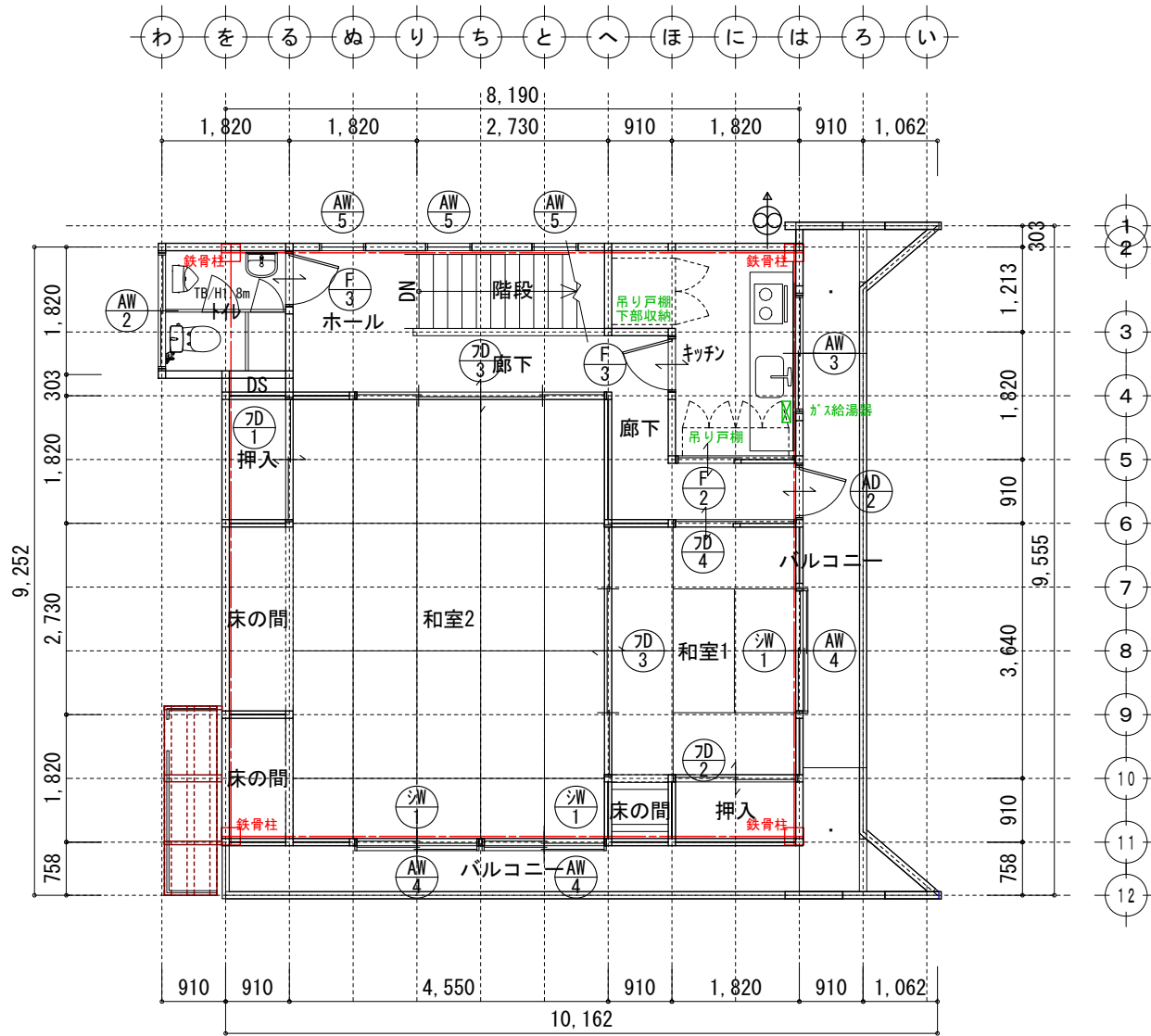
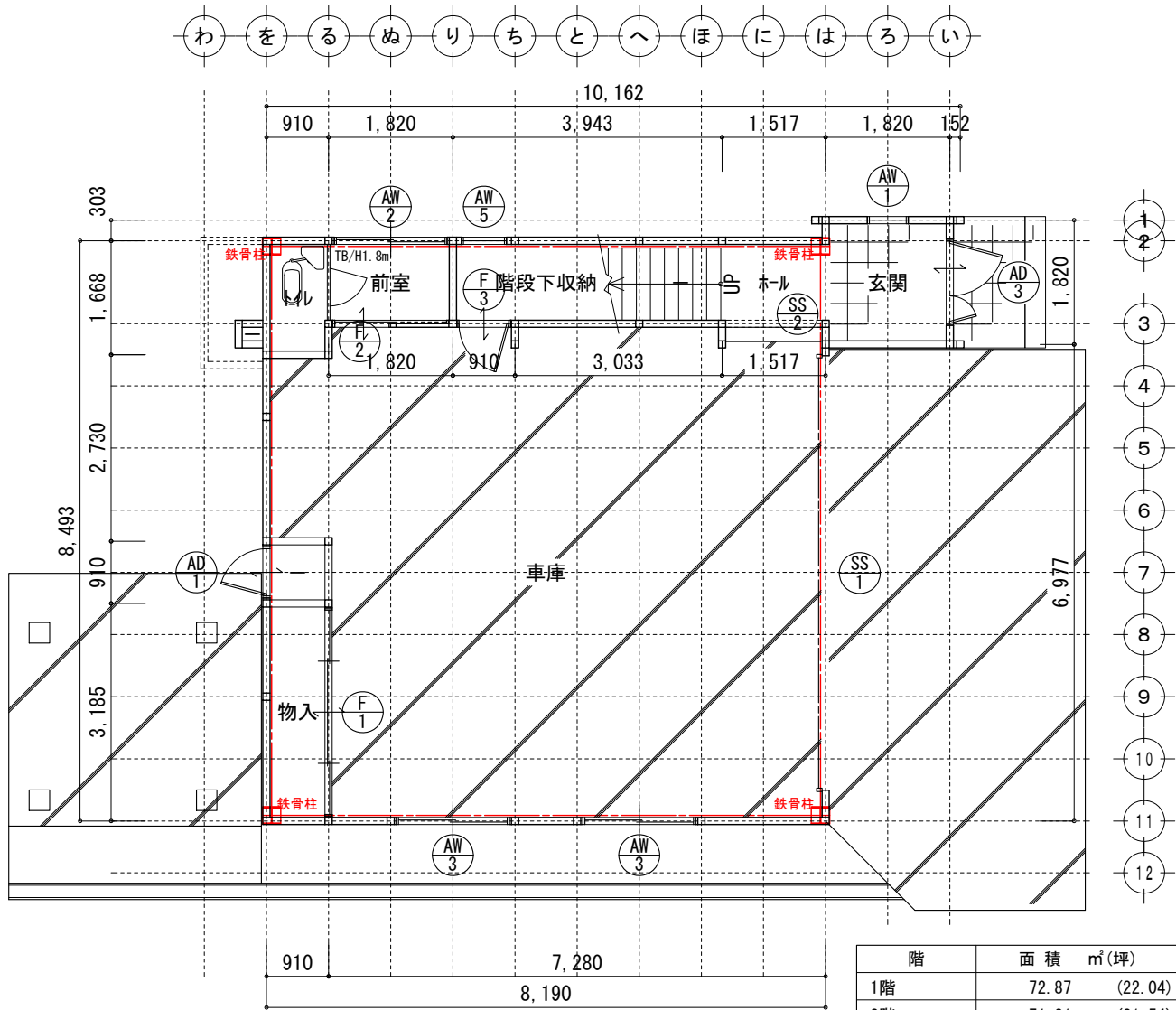
外部仕上表					
屋 根	ｶﾞｰﾈｰﾂ板 瓦棟葺き 一部横葺き/ｱｽﾌﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ｱｽﾌﾞﾙﾄﾙ 野地合板	軒どい	ｶﾞｰﾈｰﾂ板 角種 W150	建 具	ｱﾙﾐﾅｼｭﾑ ｶﾞﾗｽ単板
破風 唐草	ｶﾞｰﾈｰﾂ板 加工	竪どい	ｶﾞｰﾈｰﾂ板 φ75	外部/内部土間	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金網押さえ
軒 天	木製羽目板/塗装	外 壁	ｼｽﾁﾐﾂ18 吹付塗装 ｱｽﾌﾞﾙﾄﾙ	断熱材	天井:ｸﾞﾗｽﾎﾞｰﾙﾏｯﾄ t100 床 : 押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾔﾝﾌｫｰﾑ保温板 t80 裏形
庇	ｶﾞｰﾈｰﾂ板 加工		その他	基礎 : 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 独立基礎 一部布基礎 ﾍﾞﾝﾀﾞ: 床防水ｼｰﾄ 立上りH100 ｱｽﾌﾞﾙﾄﾙ	
基礎巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 ｴﾈﾙｷﾞｰ絶縁上塗り ｱｽﾌﾞﾙﾄﾙ				

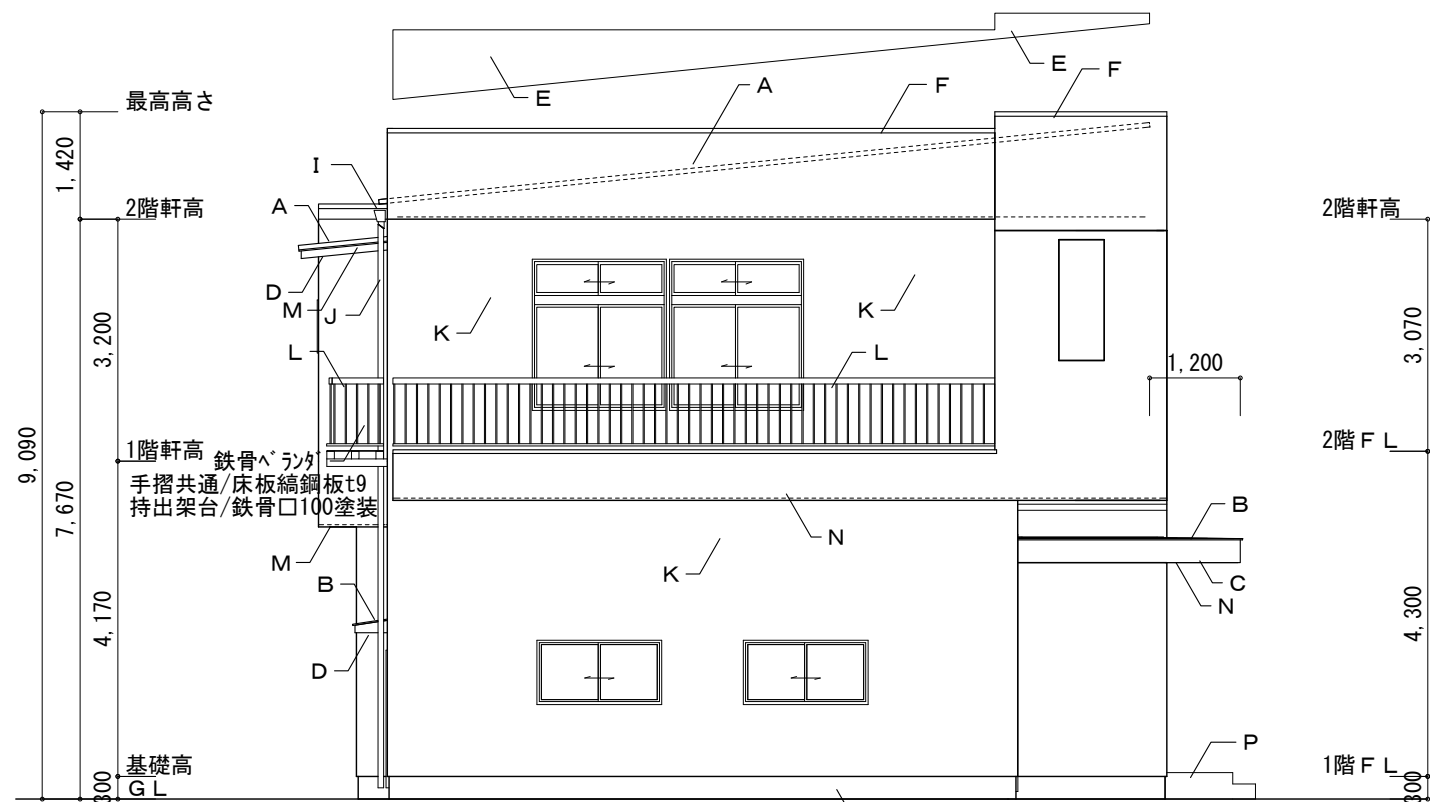
[illegible][illegible]



案内図 S:1/2:500

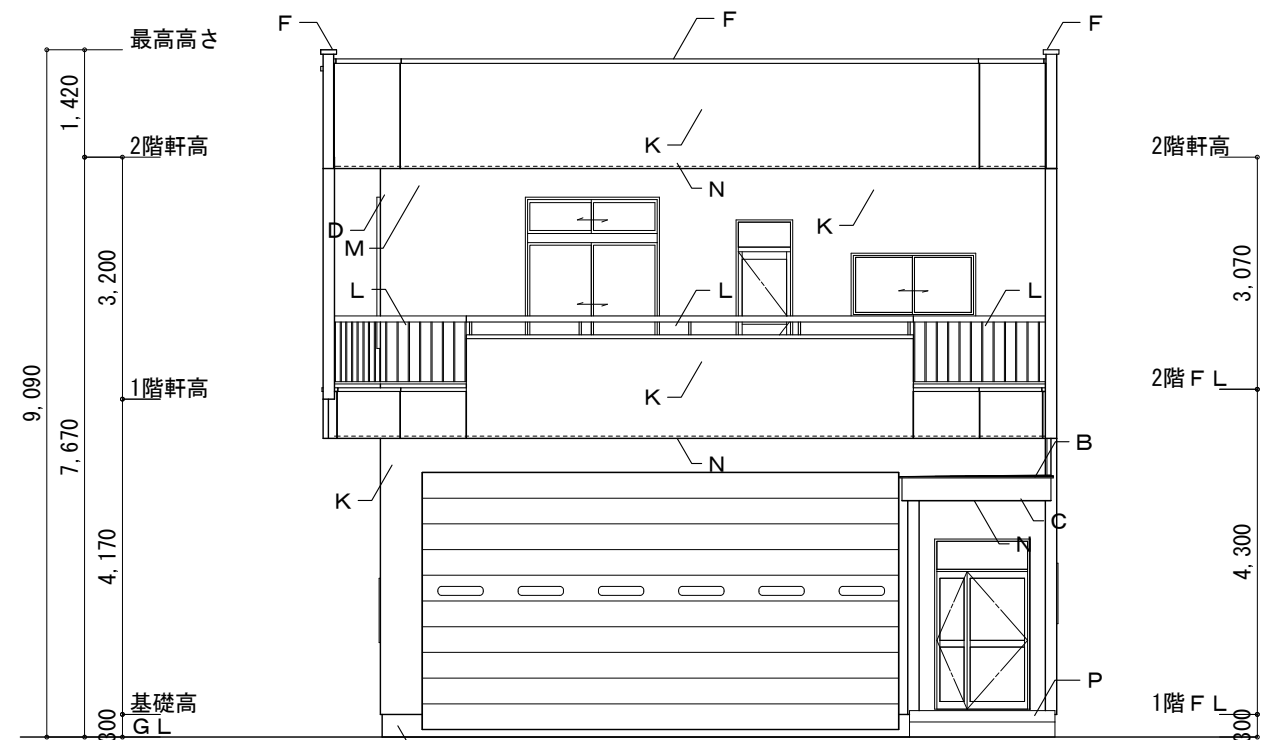




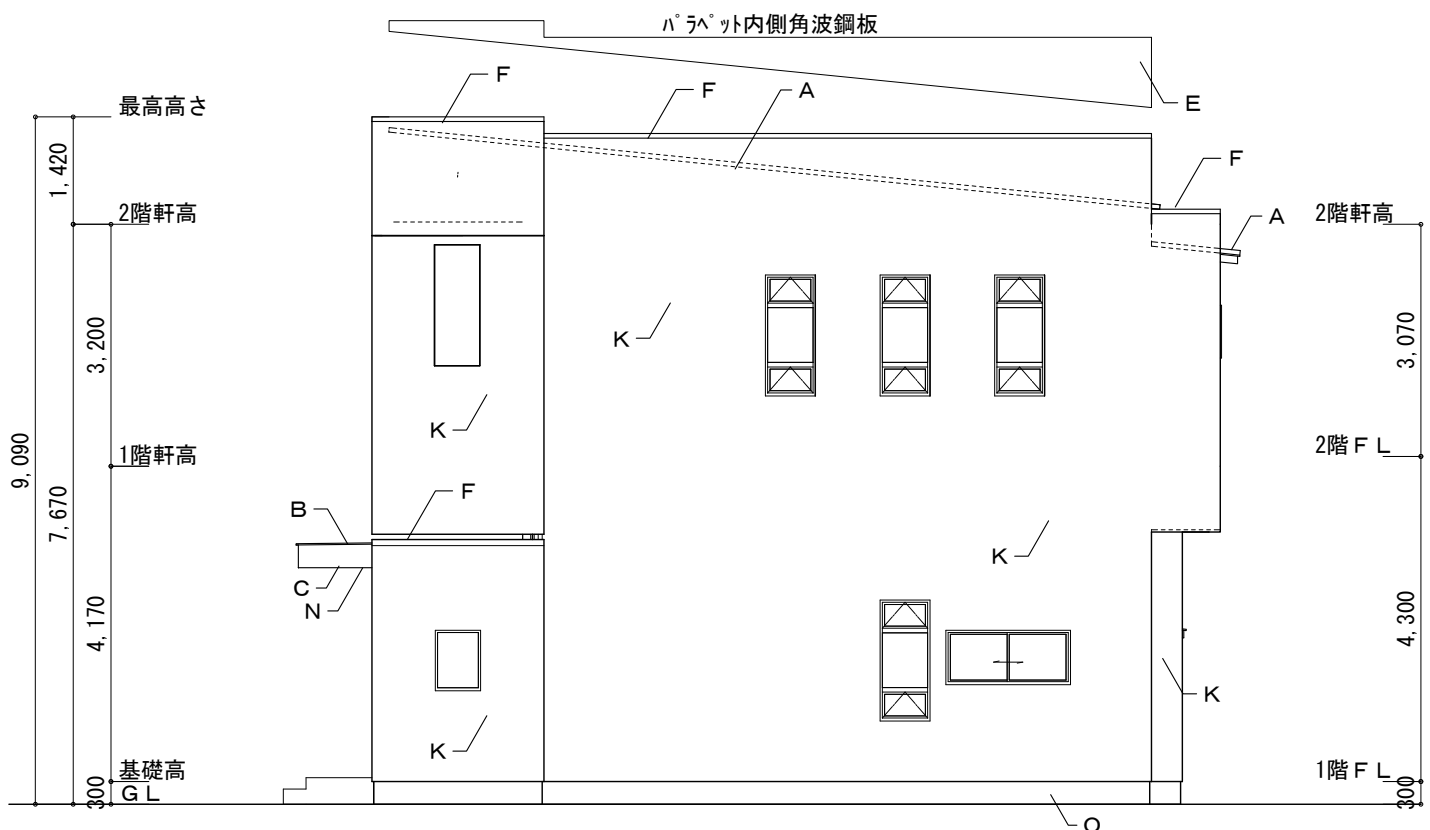


南側 立面図 S:1/100

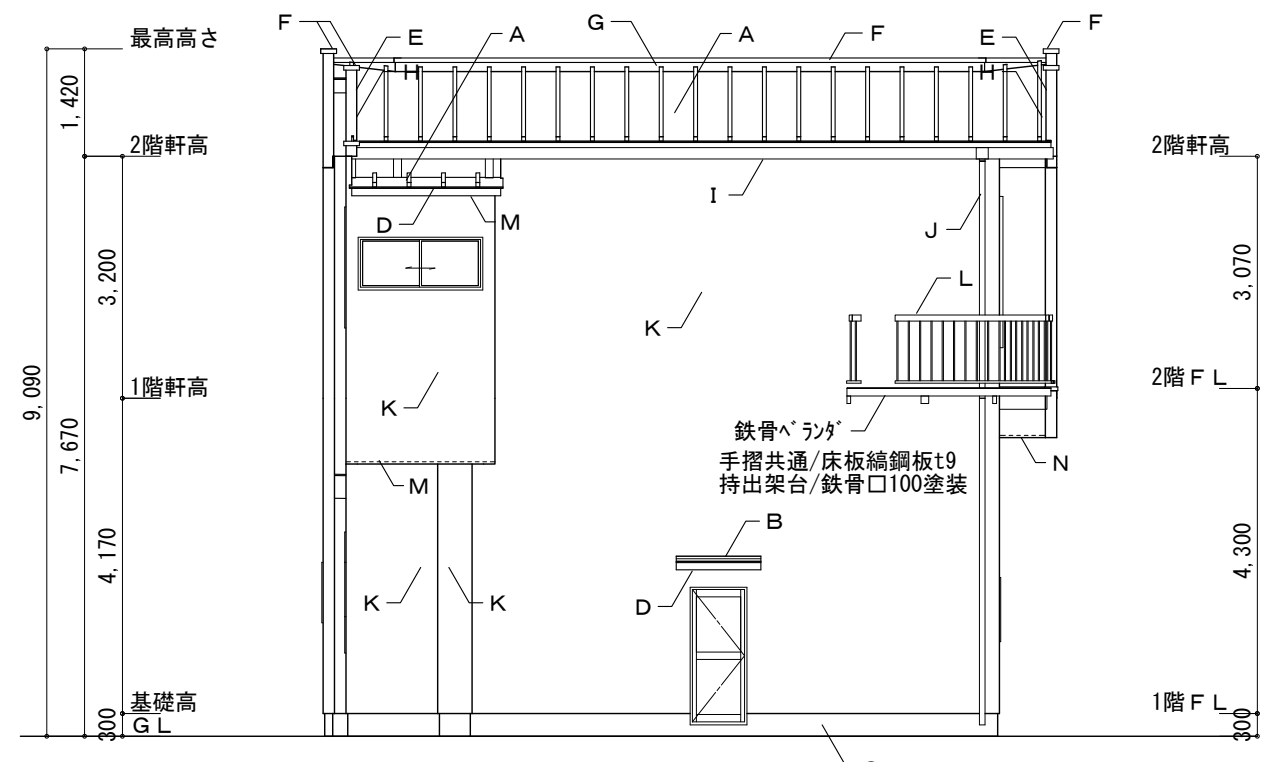
- 立面図 凡例
- | | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|--------------------|
| A : 屋根/ガル鋼板瓦棒葺き | E : ハーフット内側角波鋼板 | I : 軒樋角形W150 | M : 軒天/ケイカル板塗装 |
| B : 屋根/ガル鋼板横葺き | F : ハーフット笠木 | J : 縦樋φ75 | N : 軒天/羽目板 |
| C : 破風/ガル鋼板包み | G : 雨押え:東側立上り部 | K : 外壁/珪藻土塗装 | O : 基礎/鉄筋コンクリート布基礎 |
| D : 破風/珪藻土塗装 | H : 雨押え:南北立上り部 | L : 手摺/鉄骨塗装笠木共 | P : 玄関ポーチ |



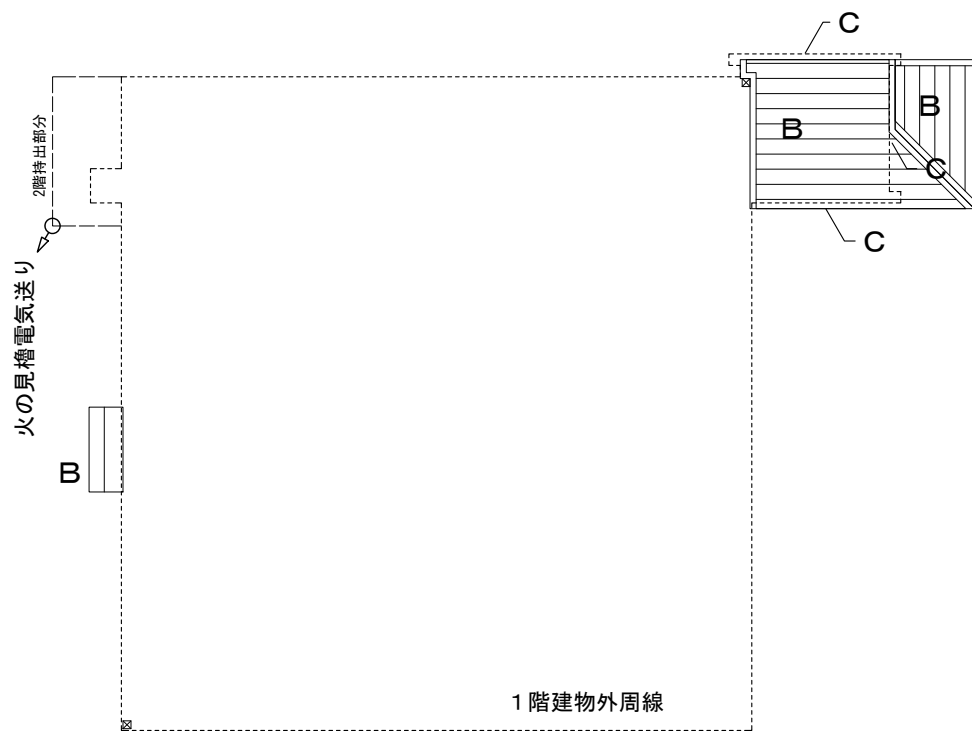
東側 立面図 S:1/100



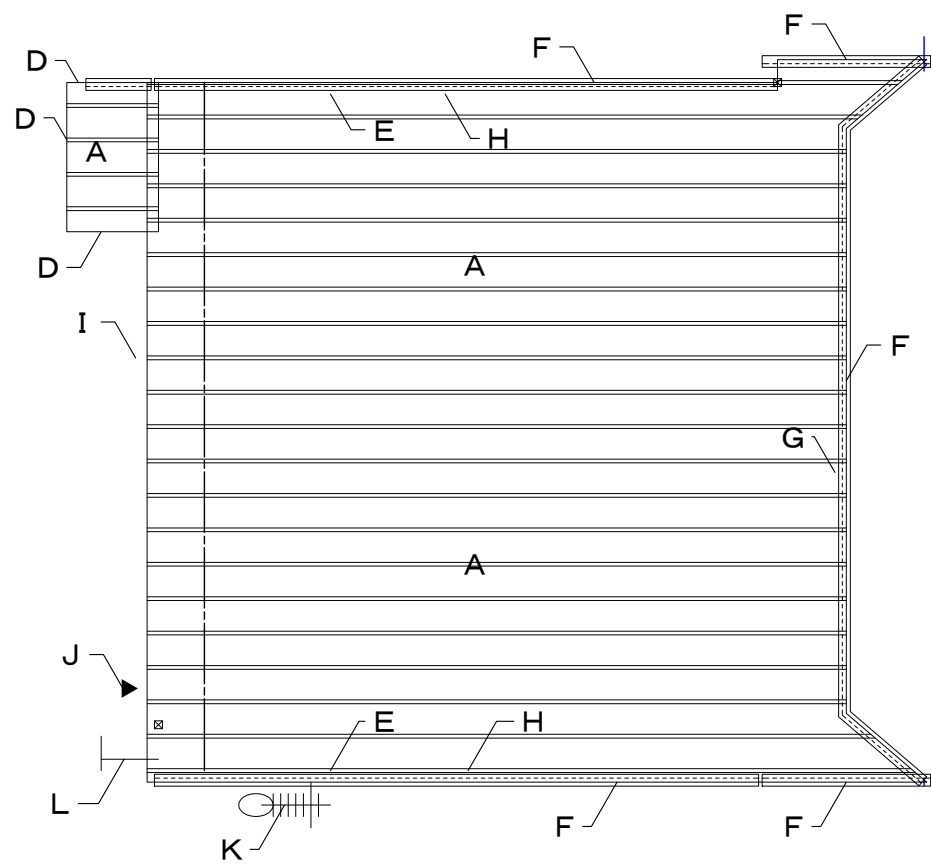
北側 立面図 S:1/100



西側 立面図 S:1/100



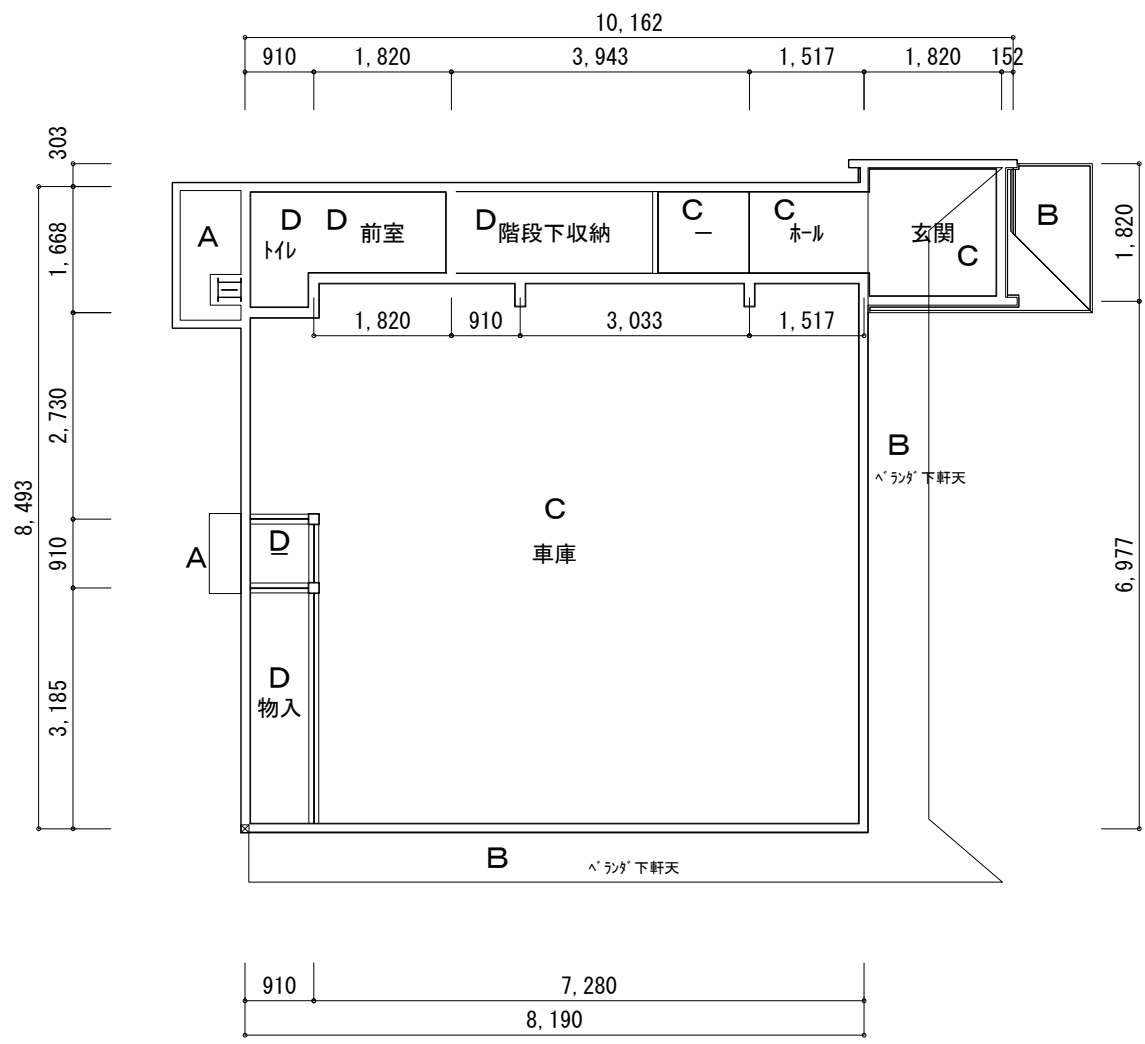
1階 屋根伏図 S:1/100



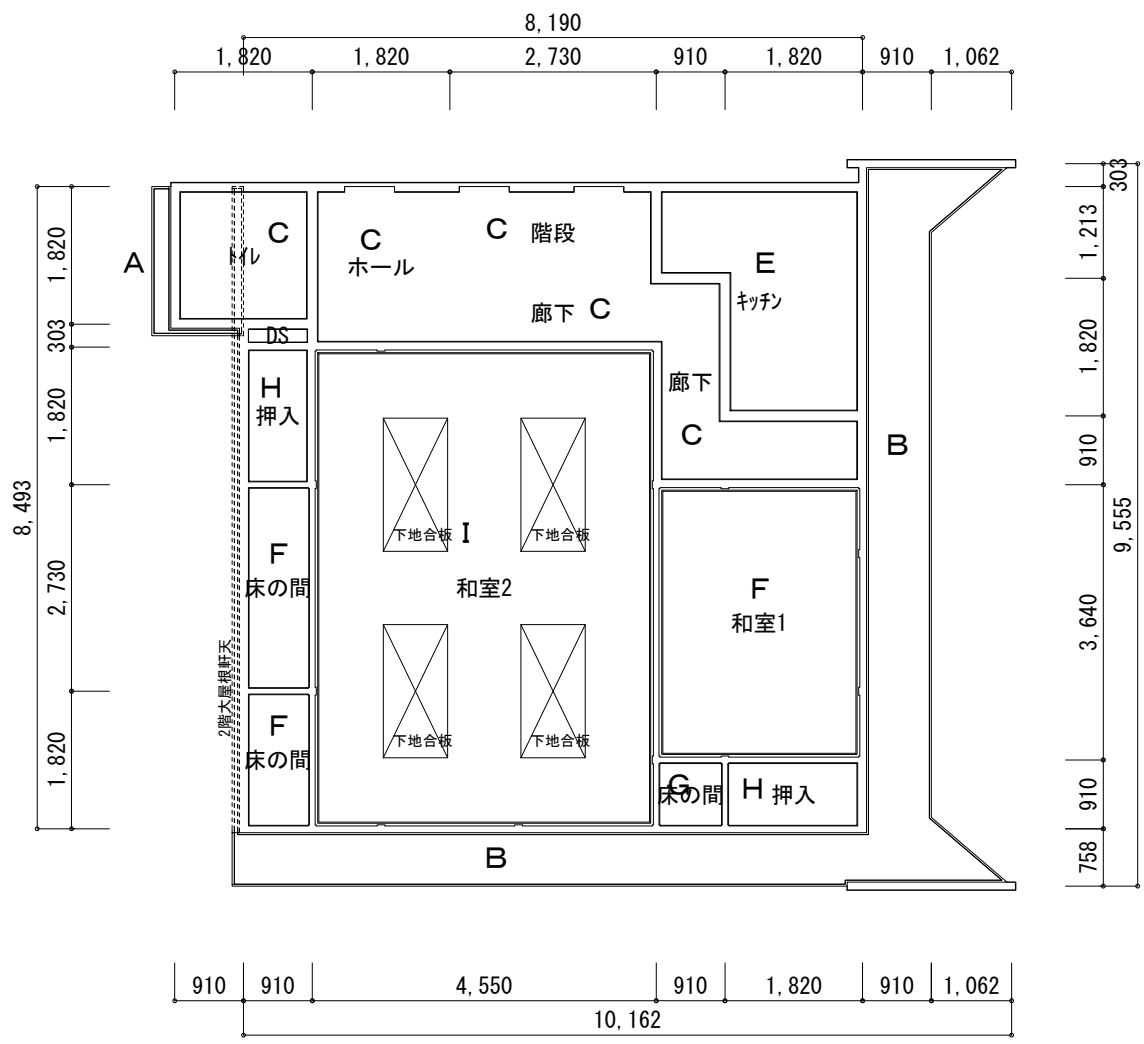
2階 屋根伏図 S:1/100

◀ : 縦樋落し口 ——— : 雪止めアングル L40*40*3

屋根伏図 凡例			
A	長尺ｶｰﾎﾟﾝﾍﾞｰﾄﾞ葺き	F	ﾊﾞﾗﾝｽﾞﾍﾞｰﾄﾞ ｶｰ-GL鋼板加工
	ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ｱｽﾌﾞﾙ含有/L3 野地合板t12	G	雨押え東側立上り部 120*30*H150
B	長尺ｶｰﾎﾟﾝﾍﾞｰﾄﾞ横葺き	H	雨押え南北立上り部 120*30*H150
	ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ｱｽﾌﾞﾙ含有/L3 野地合板t12	I	軒樋150*150
C	破風:長尺ｶｰﾎﾟﾝﾍﾞｰﾄﾞ包みW300 下地板t24	J	縦樋φ75
D	破風:ﾓﾙﾀﾙ塗装W150	K	T Vｱﾝﾃﾅ 地ﾃﾞｼﾞ+BS
E	ﾊﾞﾗﾝｽﾞﾍﾞｰﾄﾞ内部立上り部角波鋼板	L	防災無線受信用ｱﾝﾃﾅ



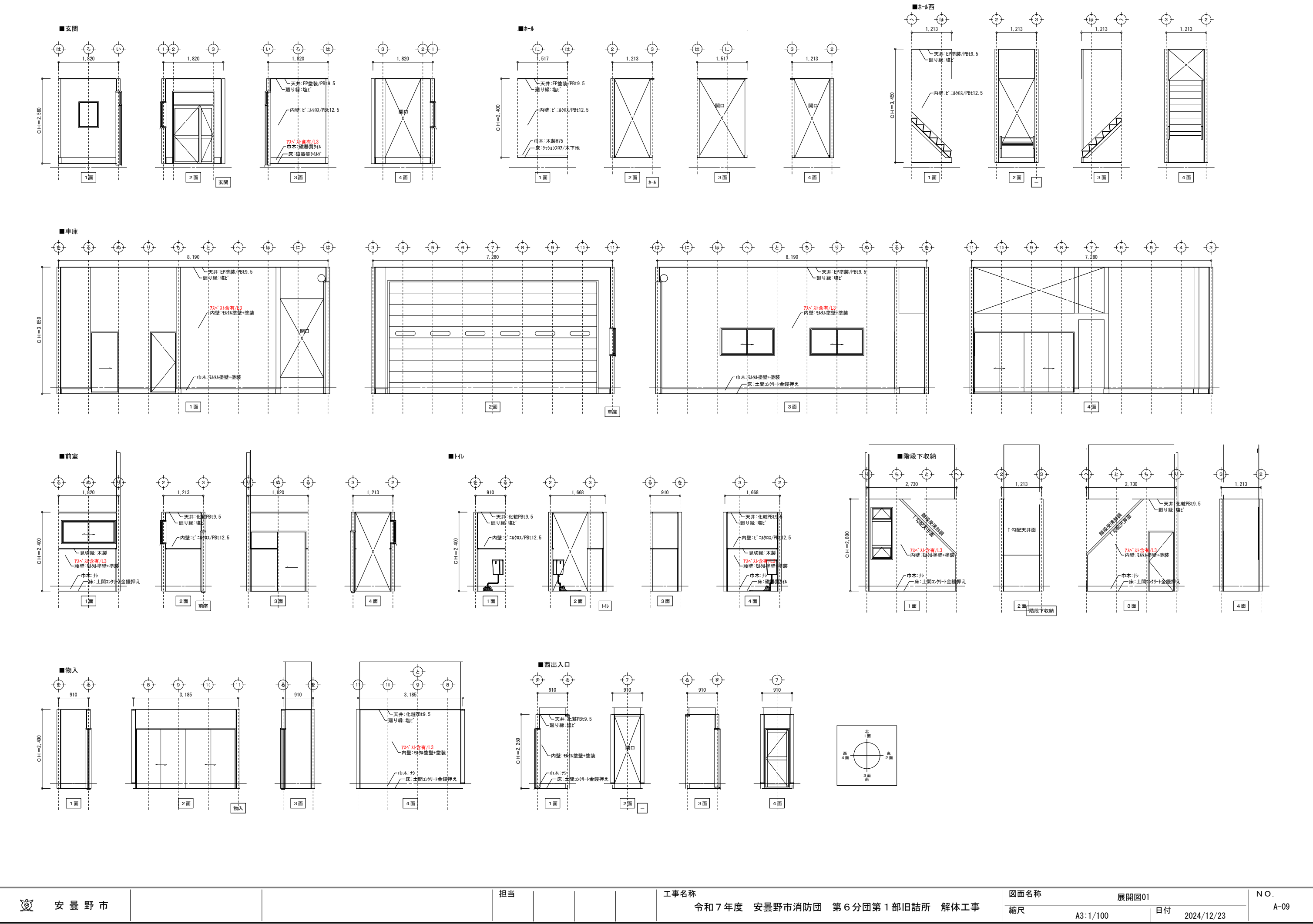
1階 天井伏図 S:1/100

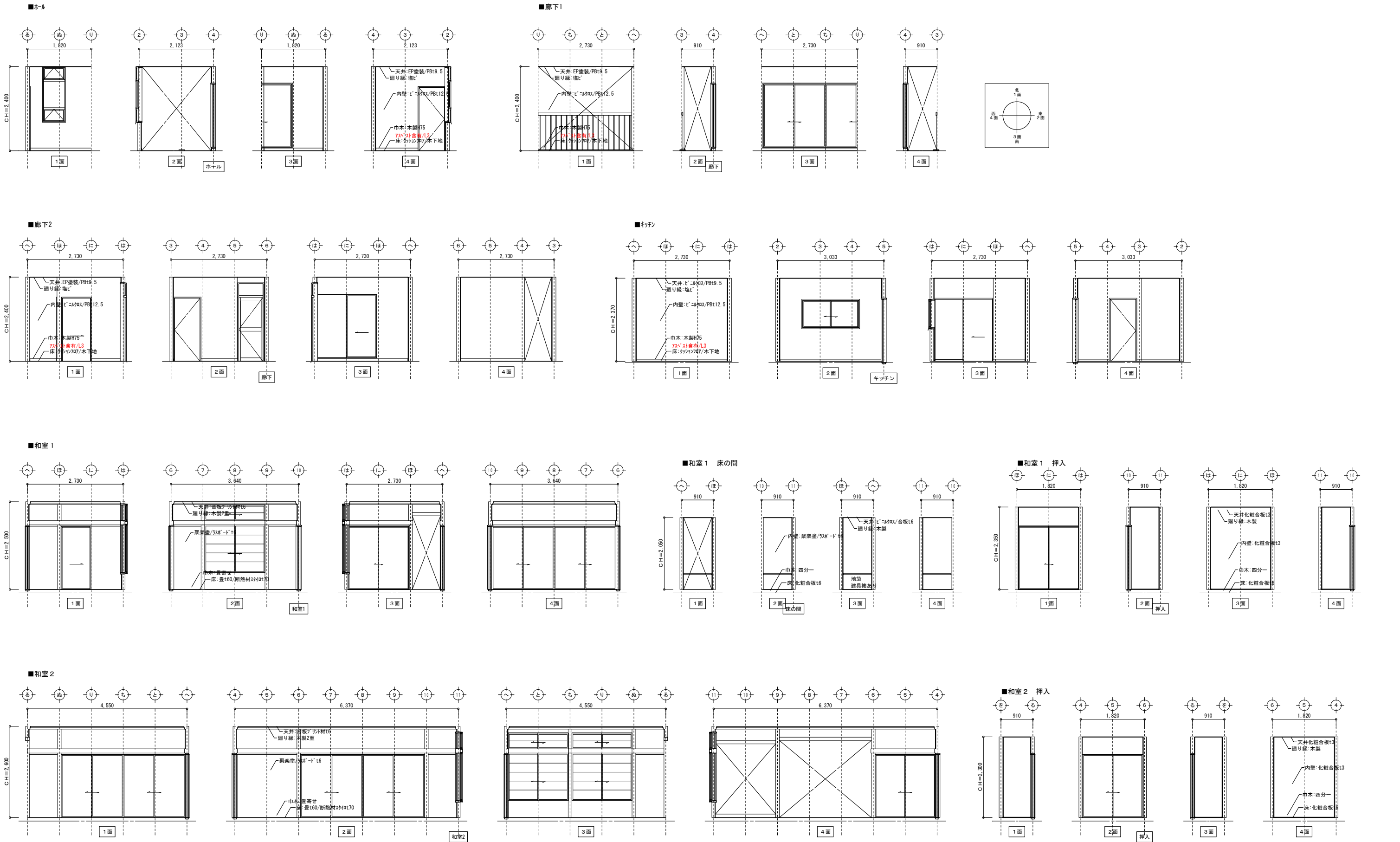


2階 天井伏図 S:1/100

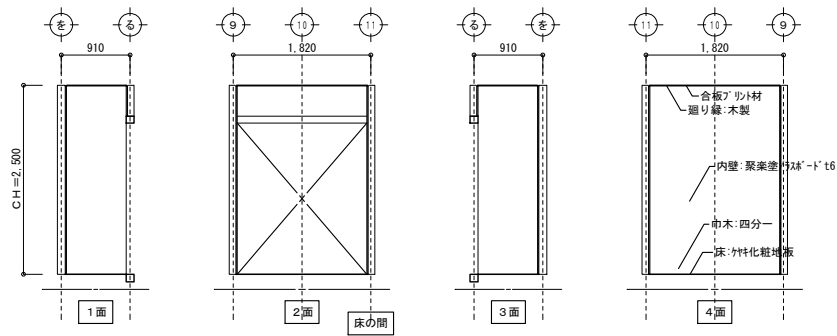
⊠ : 天井点検口450

天井伏図 凡例			
A	珪酸カルシウム板/リソ吹付	H	化粧合板t3
B	木製羽目板t9/塗装	I	格天井:石膏板・t9.5/t・ニルカス 一部合板下地t6
C	石膏板・t9.5/塗装	J	
D	化粧石膏板・t9.5	K	
E	石膏板・t9.5/t・ニルカス	L	
F	杉証目 合板7'リソ材 t6	M	
G	合板下地t6/t・ニルカス	N	

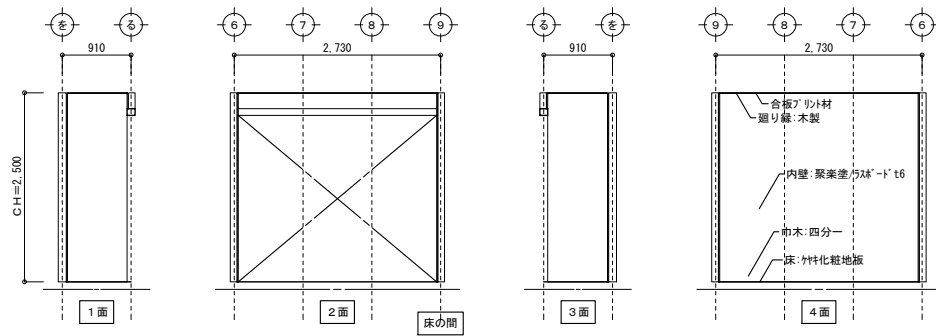




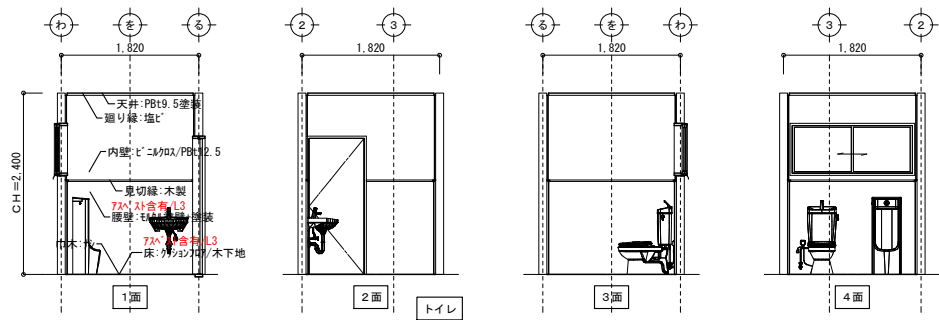
■和室2 床の間1



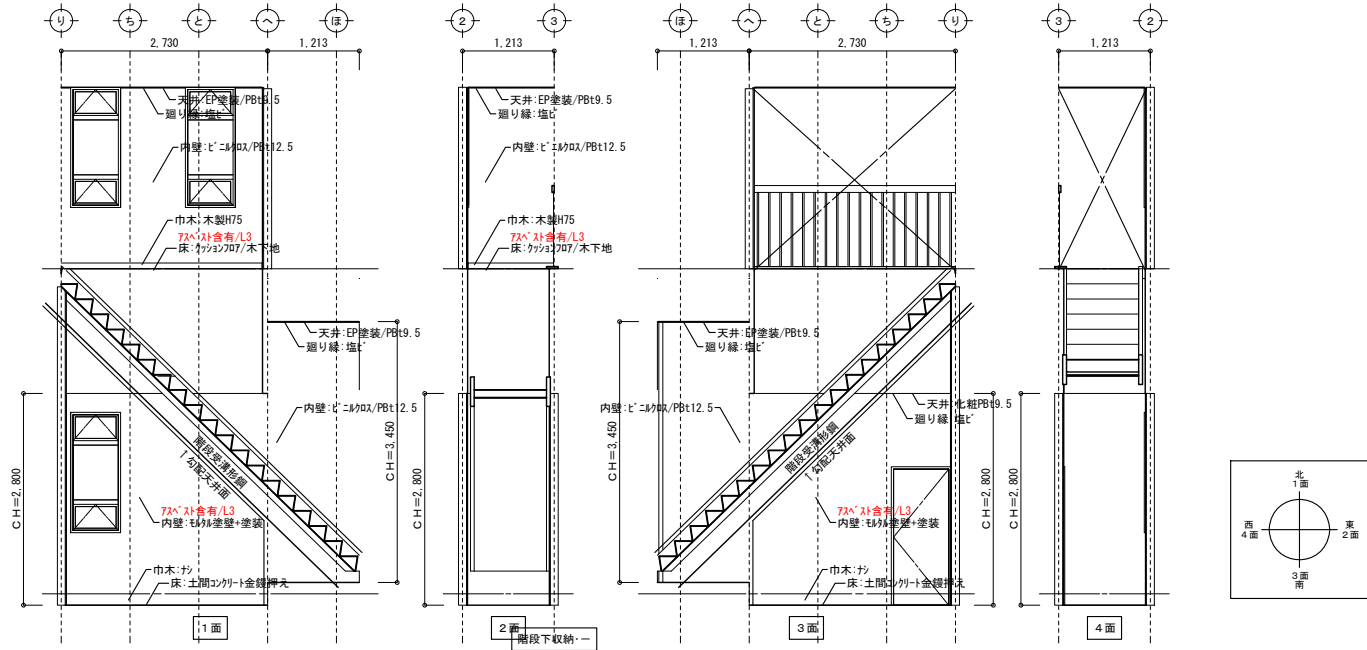
■和室2 床の間2



■トイレ



■階段室



安曇野市

担当

工事名称

令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事

図面名称

展開図03

NO.

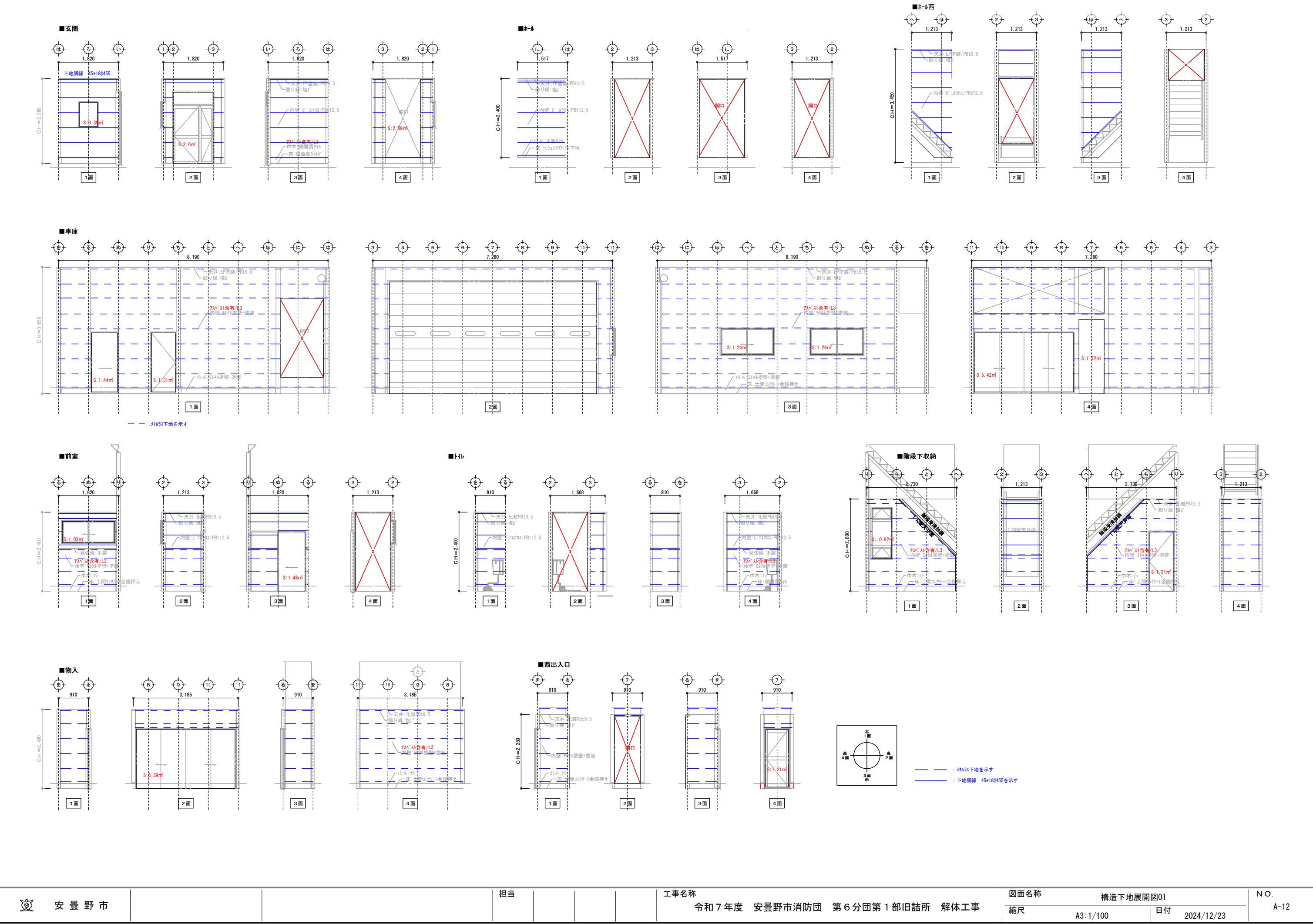
A-11

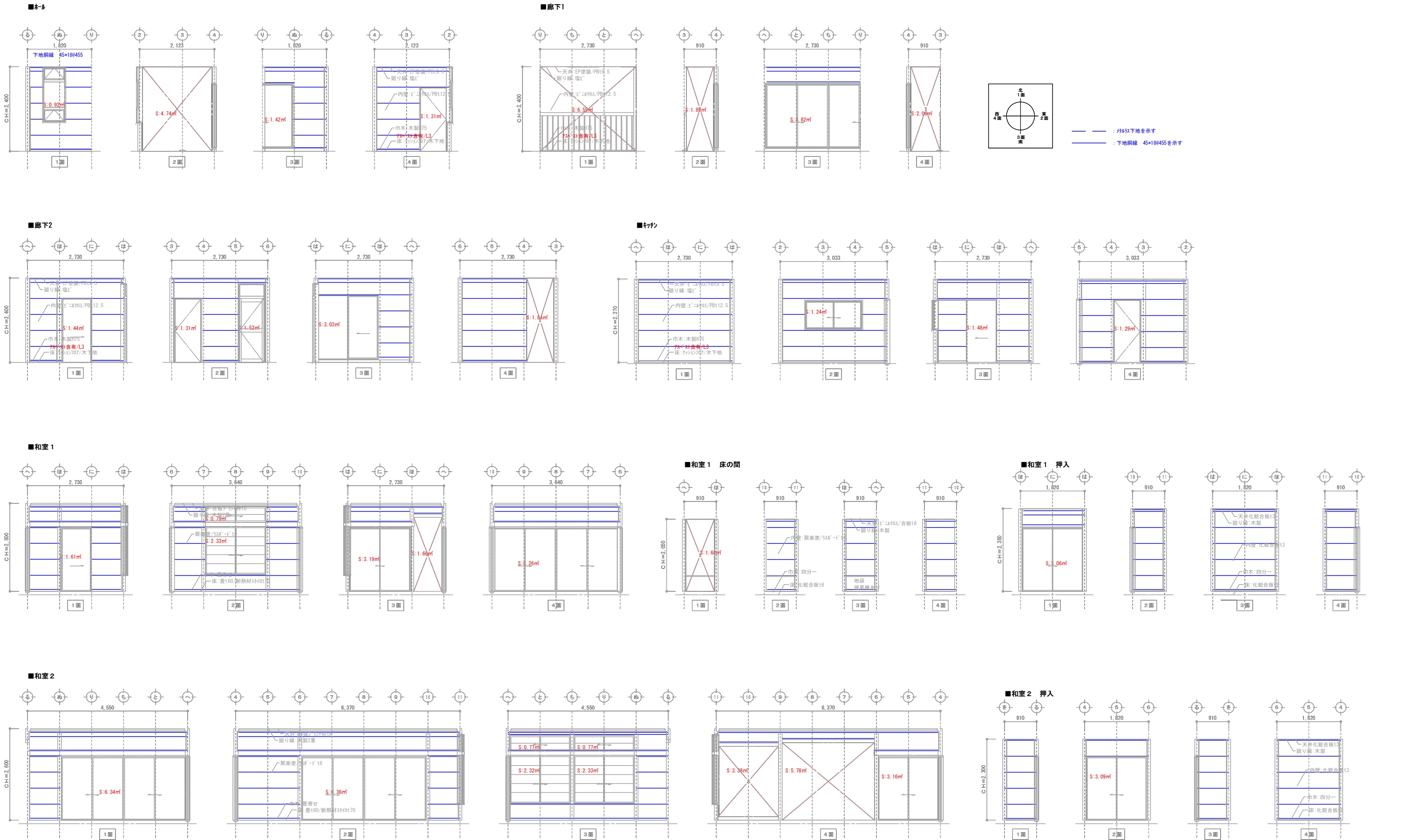
縮尺

A3:1/100

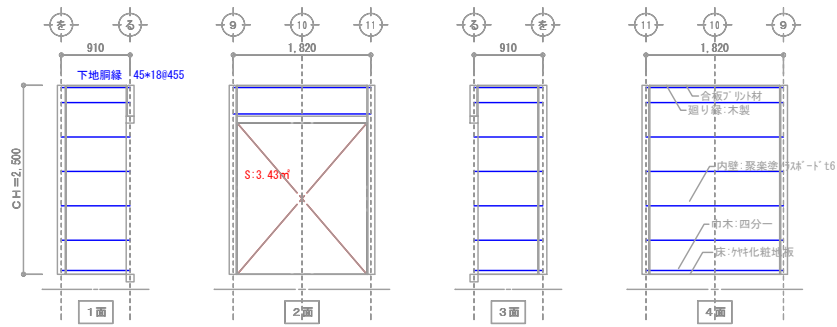
日付

2024/12/23

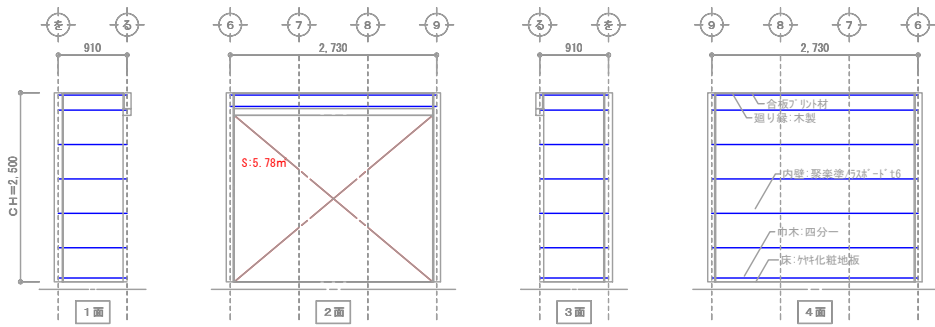




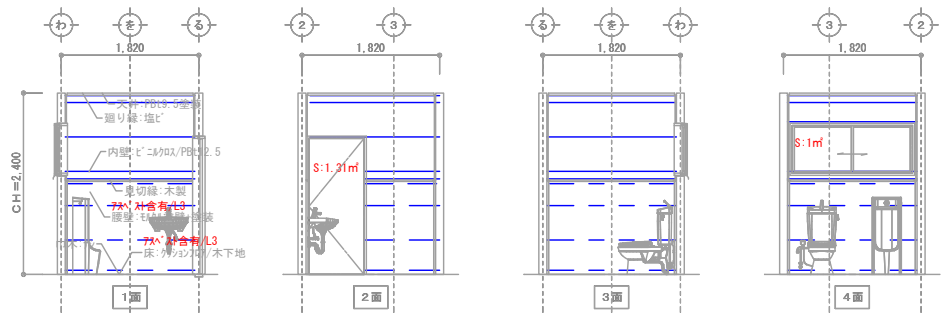
■和室2 床の間1



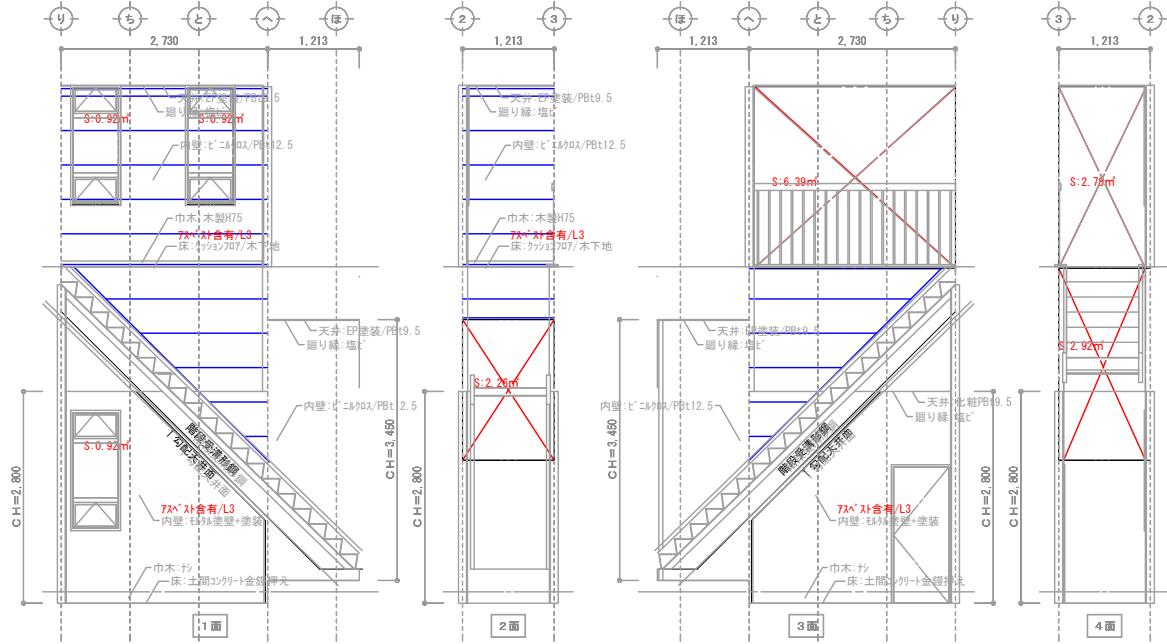
■和室2 床の間2



■トイレ



■階段室



--- : 障子以下地を示す
--- : 下地胴縁 45×188×455を示す



安曇野市

担当

工事名称

令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事

図面名称

構造下地展開図03

NO.

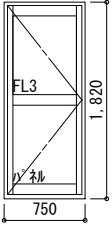
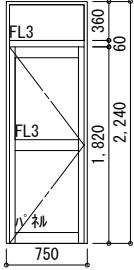
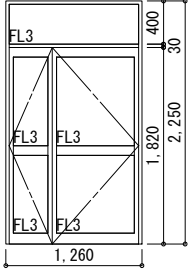
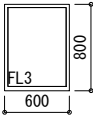
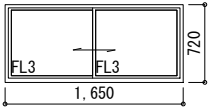
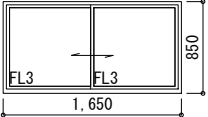
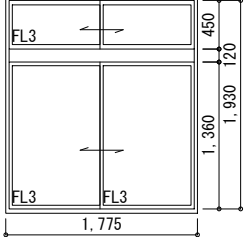
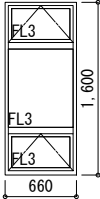
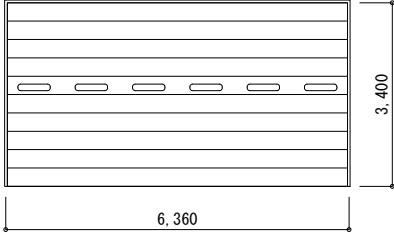
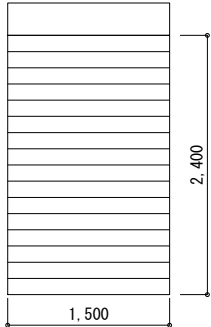
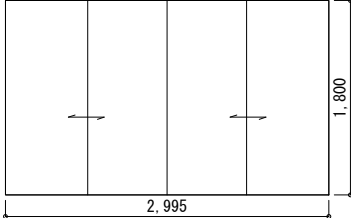
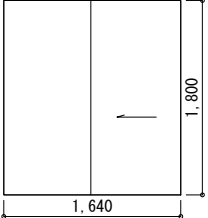
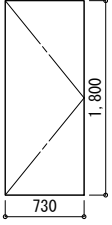
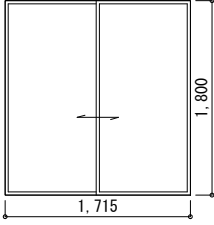
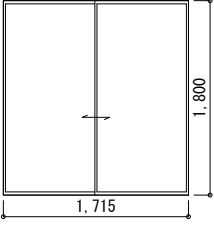
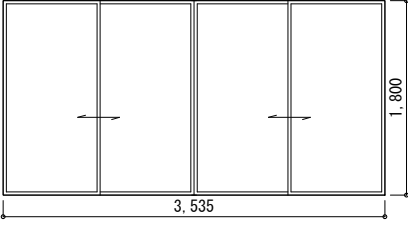
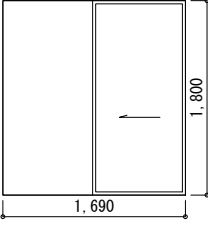
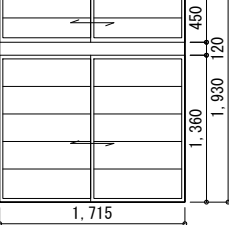
A-14

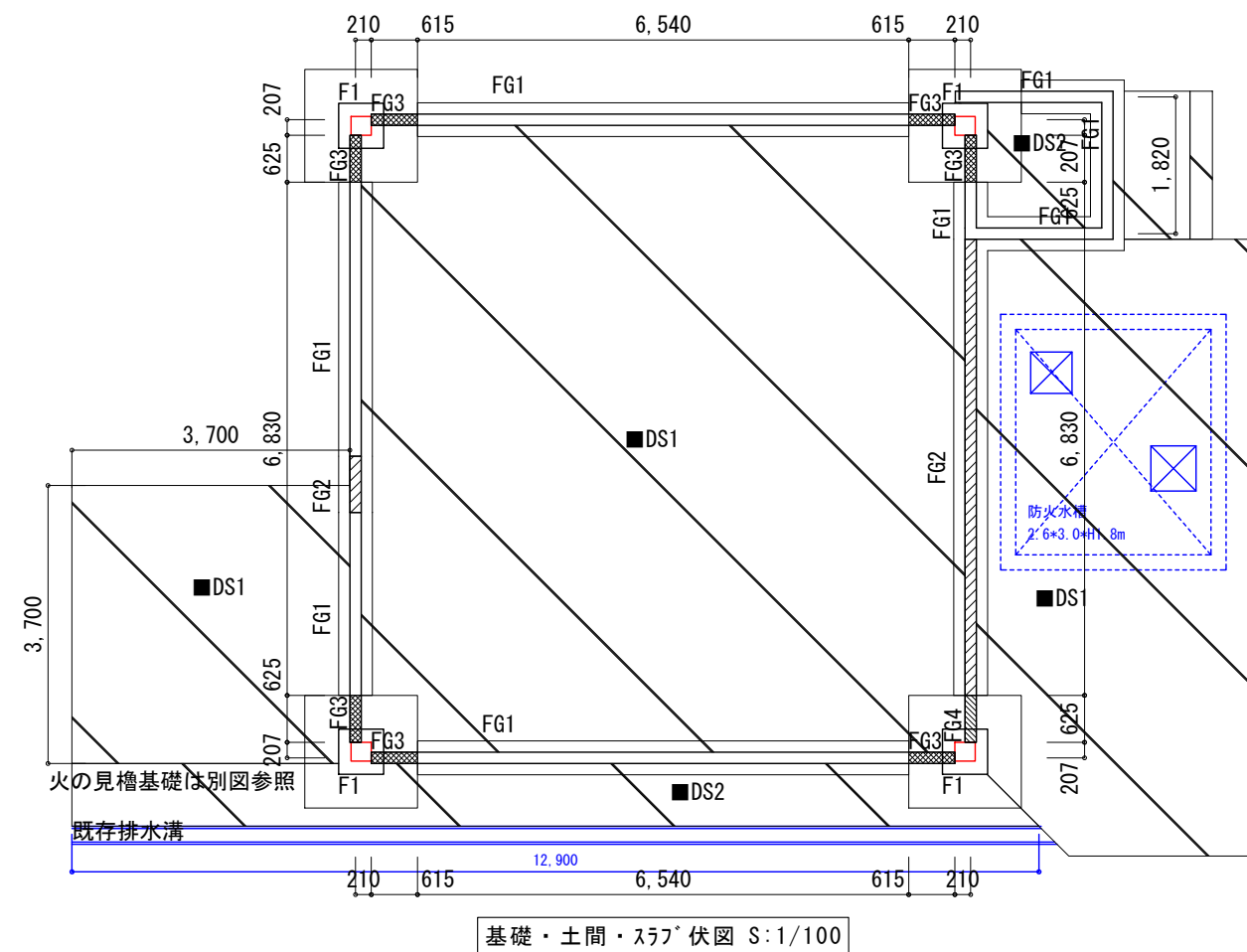
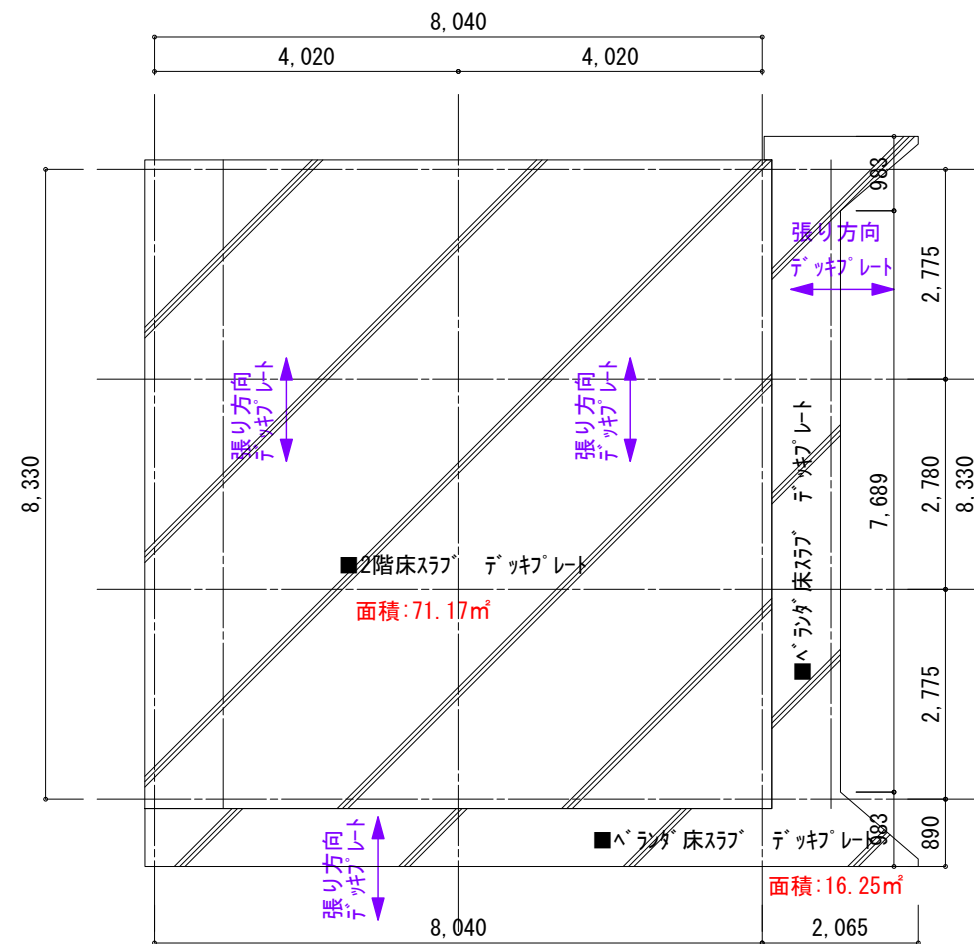
縮尺

A3: 1/100

日付

2024/12/23

記 号	AD 1	1ヶ所	AD 2	1ヶ所	AD 3	1ヶ所	AW 1	1ヶ所	AW 2	2ヶ所	AW 3	3ヶ所
姿 図												
部 屋 名	1階車庫西		2階廊下東		1階玄関		1階玄関		1階前室, 2階トイレ		1階車庫, 2階キッチン	
型 式	片開		片開		親子		Fix		2枚引違い		2枚引違い	
材 質	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
見 込	70		70		70		70		70		70	
仕 上												
ガ ラ ス	図示		図示		図示		図示		図示		図示	
金 物	握り玉, 附属金物一式		握り玉, 附属金物一式		握り玉, 附属金物一式		附属金物一式		クレント, 附属金物一式		クレント, 附属金物一式	
備 考											キッチンのみ網戸	
記 号	AW 4	3ヶ所	AW 5	4ヶ所	SS 1	1ヶ所	SS 2	1ヶ所	F 1	1ヶ所	F 2	2ヶ所
姿 図												
部 屋 名	2階和室1, 2		1階階段下収納, 2階ホール, 階段室		1階車庫		1階車庫-ホール		1階物入		1階前室, 2階キッチン	
型 式	2枚引違い		複合戸		オーバー・スライド・ドア		スチールシャッター		4枚引違い		片引き	
材 質	アルミ製		アルミ製		スチール製		スチール製		フラッシュ		フラッシュ	
見 込	70		70		-		70		30		30	
仕 上					焼付塗装		焼付塗装		化粧合板		化粧合板	
ガ ラ ス	図示		図示		明かり窓*6		なし		-		-	
金 物	クレント, 附属金物一式		カムロック, 附属金物一式		附属金物一式		シャッターボックス, 附属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備 考			網戸									
記 号	F 3	3ヶ所	JD 1	1ヶ所	JD 2	1ヶ所	JD 3	2ヶ所	JD 4	1ヶ所	SW 1	3ヶ所
姿 図												
部 屋 名	1階階段下収納, 2階トイレ, 廊下		2階押入		2階押入		2階和室1, 2		2階廊下		2階和室1, 2	
型 式	片開		2枚引違い		2枚引違い		4枚引違い		片引き		2枚引違い	
材 質	フラッシュ		ふすま		ふすま		ふすま		ふすま		ガラス障子	
見 込	30		30		30		30		30		30	
仕 上	化粧合板		ふすま紙		ふすま紙		ふすま紙		ふすま紙		スチール	
ガ ラ ス	-		-		-		-		-		摺りガラス	
金 物	付属金物一式		引手		引手		引手		引手		引手	
備 考												



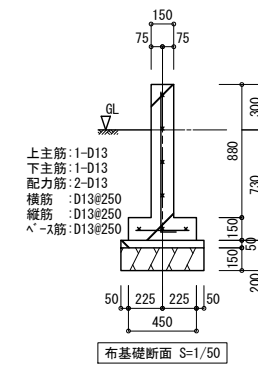
[獨立基礎]

■ F1

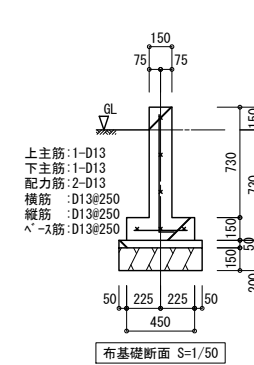
基礎リスト		記号	F1
断面		Lx * Ly	1500*1500
		ax * ay	600*600
		H	1000
		D	300
		PH	700
		ポスト主筋	12-D19
		フープ筋	D13-@100
		はかま筋	8-D10
		ベース筋	8-D13
基礎天端	GL▲80		

[布基礎]

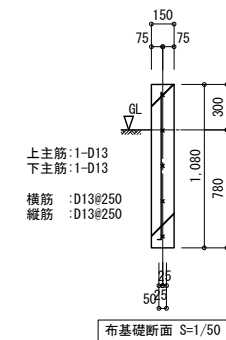
■ FG1



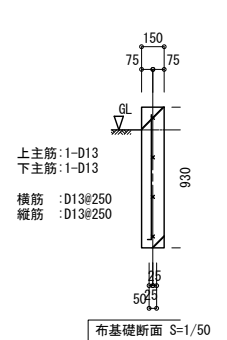
■ FG2



■ FG3

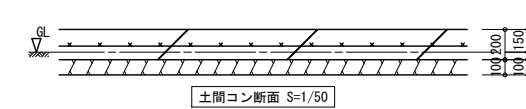


■ FG4

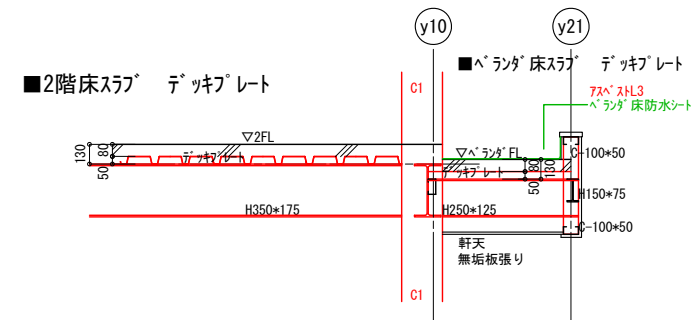
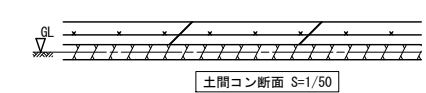


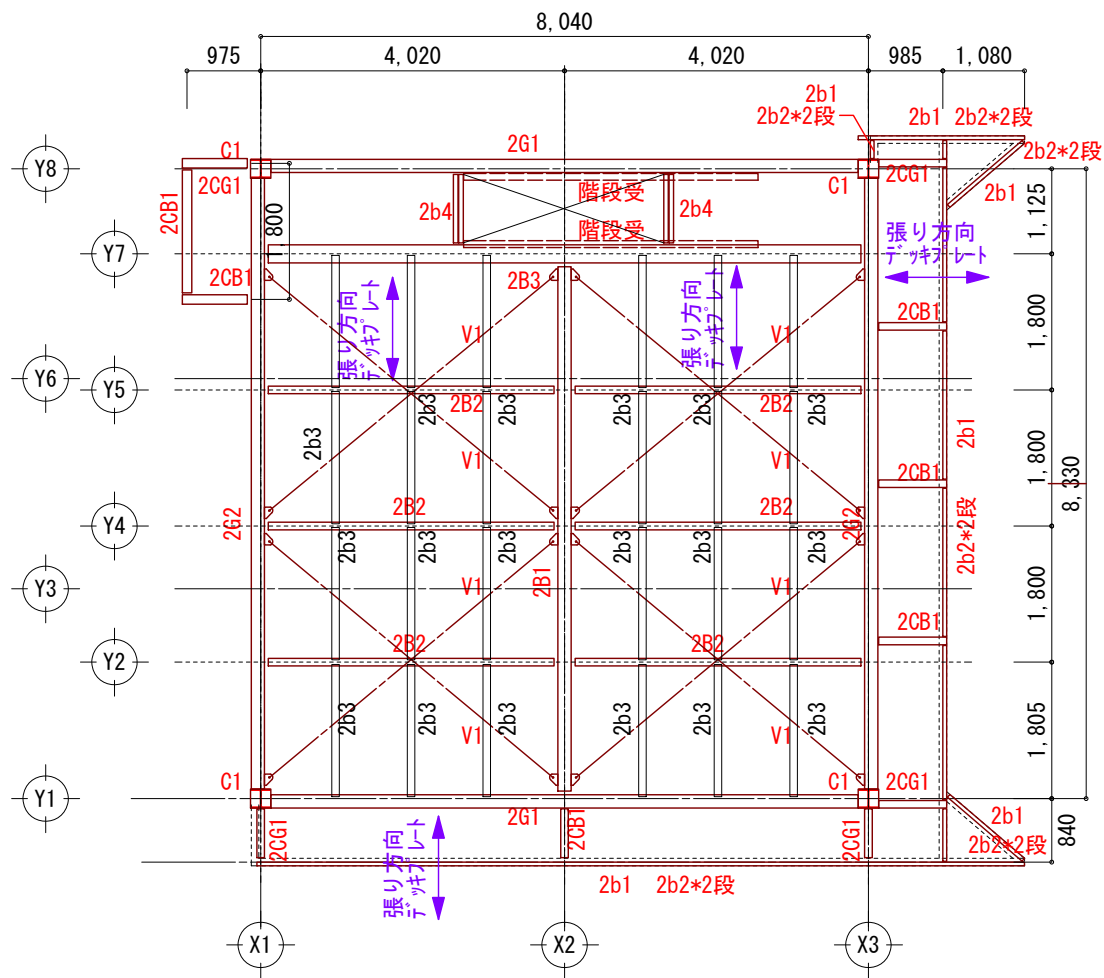
[土間スラブ]

■ DS1



■DS2



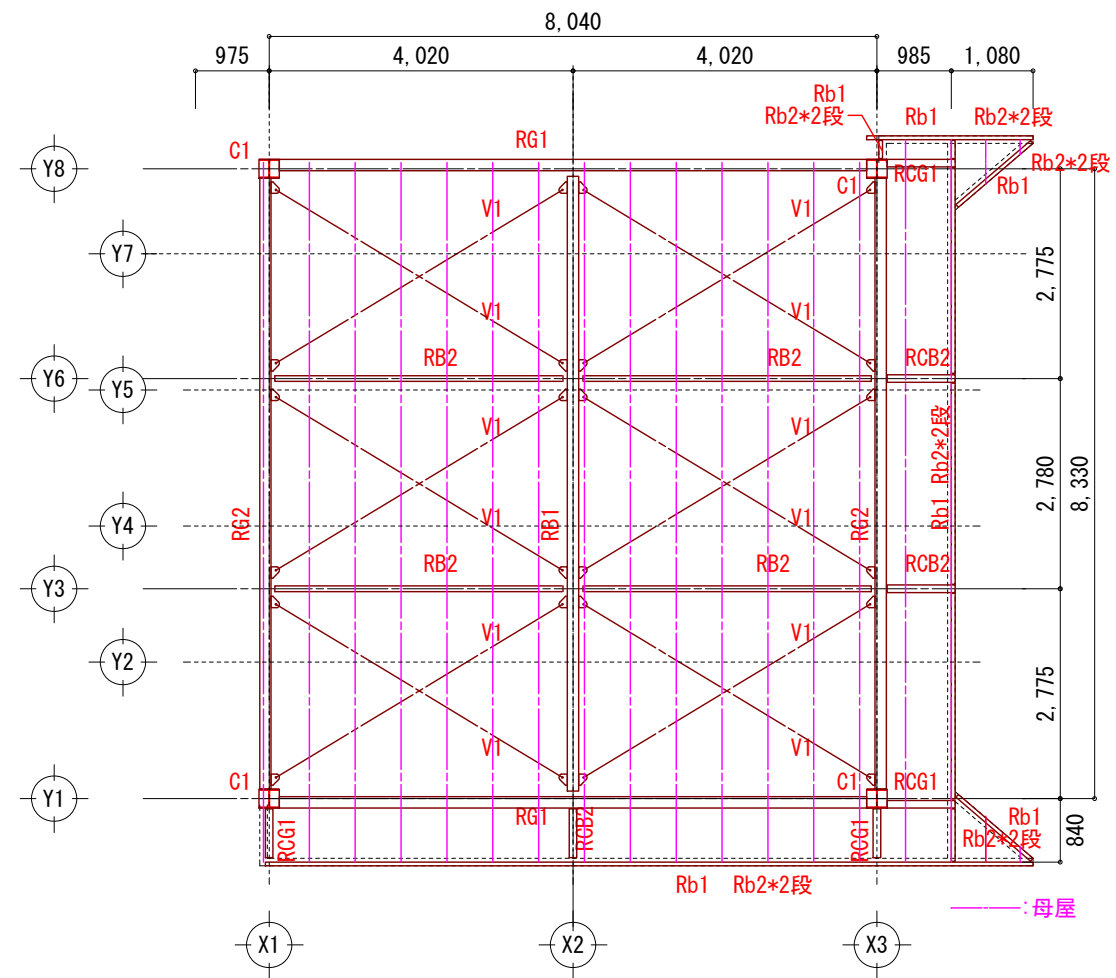


2階 梁伏図 S:1/100

柱リスト		
設計マーク	鋼材寸法	備考
1C1	H-250*250*9 柱加工	
1C1	平鋼-250*9	開口面に平鋼溶接
階段受	溝形鋼-300*90*9*13	

ブレースリスト		
設計マーク	鋼材寸法	備考
V1	FurB-16x1ツ穴 TB	

梁リスト			
設計マーク	鋼材寸法		備考
2G1		H-350*175*7*11	
2G2		H-350*175*7*11	
2B1		H-350*175*7*11	
2B2		H-200*100*5.5*8	
2B3		H-340*250*9*14	
2CG1		H-250*125*6*9	
2CB1		H-250*125*6*9	
2b1		H-150*75*5*7	
2b2		C-100*50*2.3/上下	壁受材
2b4		C-120*60*3.2/二重	
2b3		φ100木製丸太小梁	吊木受材

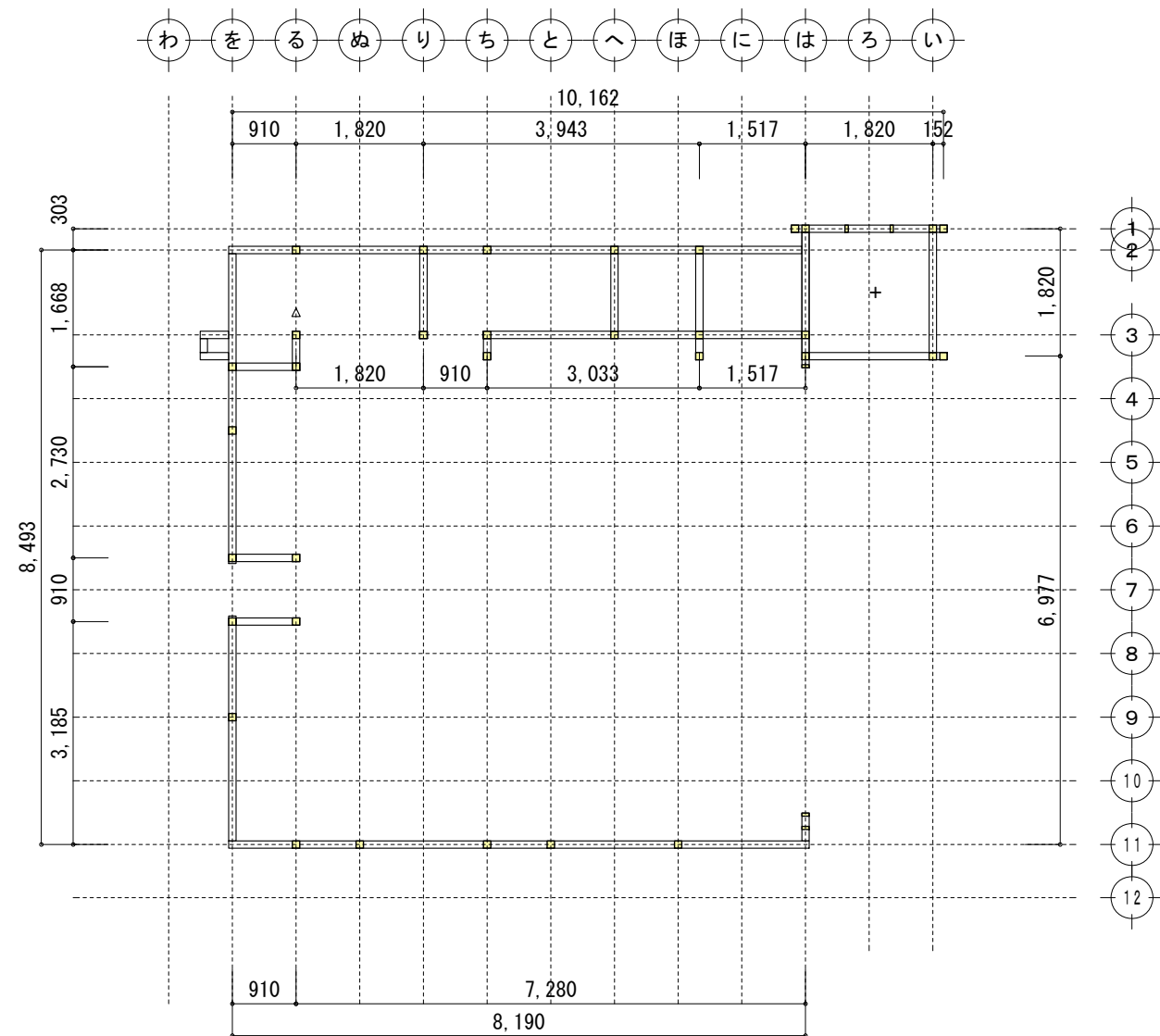


R階 梁伏図 S:1/100

柱リスト		
設計マーク	鋼材寸法	備考
1C1	H-250*250*9 柱加工	
1C1	平鋼-250*9	開口面に平鋼溶接

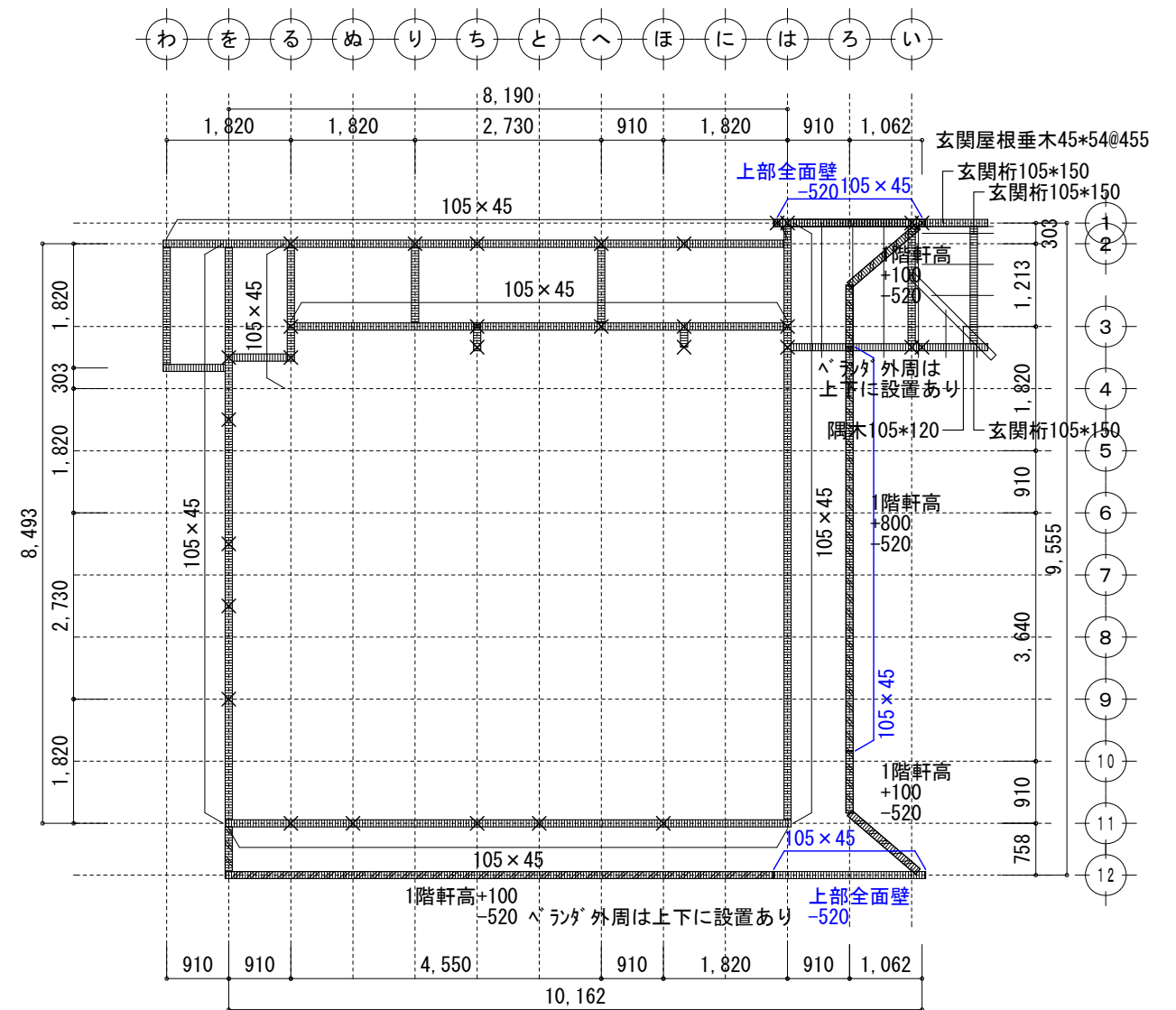
ブレースリスト		
設計マーク	鋼材寸法	備考
V1	FurB-16x1ツ穴 TB	

梁リスト		
設計マーク	鋼材寸法	備考
RG1		H-300*150*6.5*9
RG2		H-300*150*6.5*9
RB1		H-300*150*6.5*9
RB2		H-200*100*5.5*8
RCG1		H-200*100*5.5*8
RCB1		H-200*100*5.5*8
Rb1		H-150*75*5*7
Rb2		C-100*50*2.3/上下
母屋		C-100*50*2.3φ607



1階 床伏図 S:1/100

- : 柱105*105
- ▣ : 半柱105*52.5
- : 土台105*105

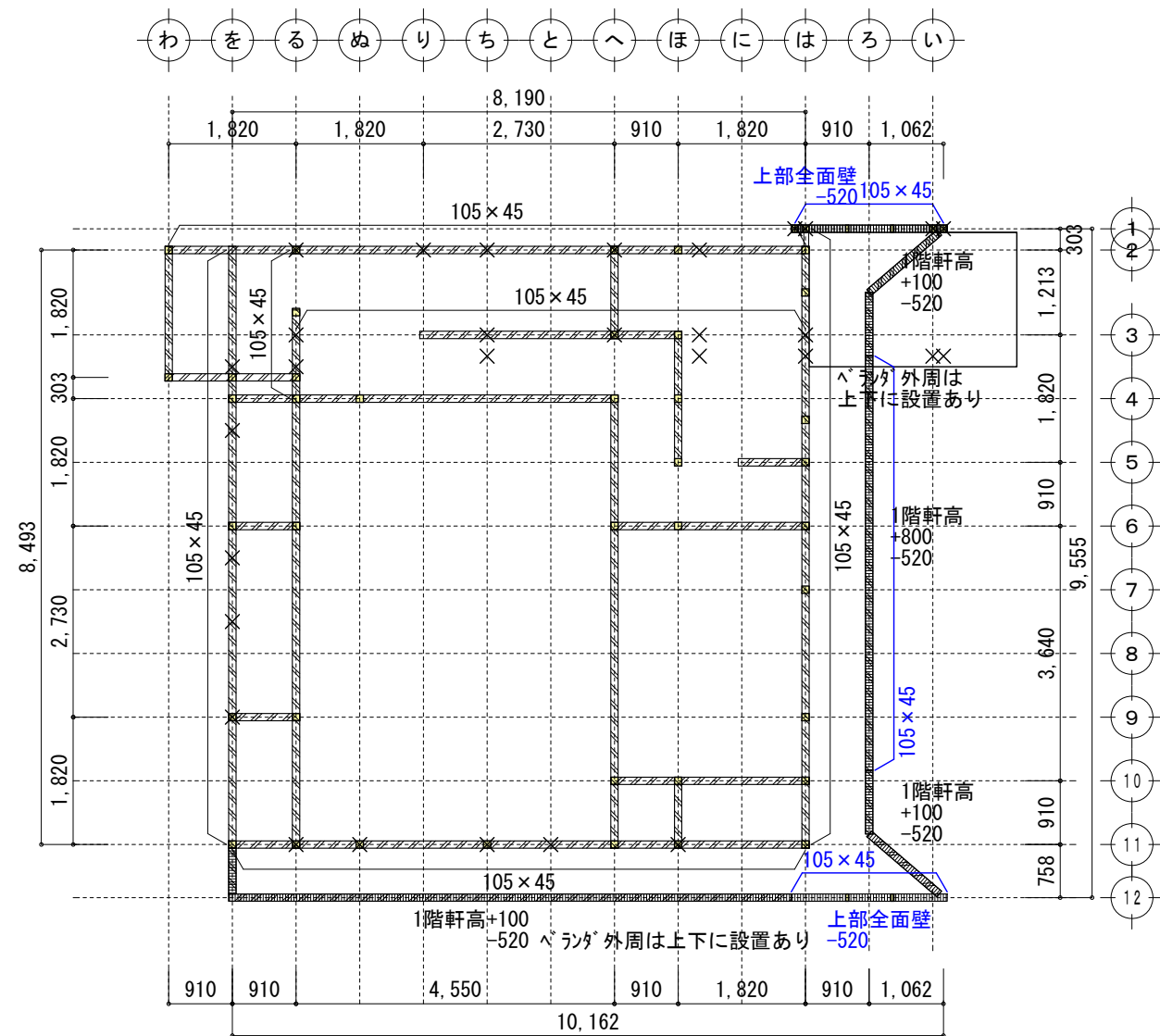


1階 小屋伏図 (鉄骨梁下) S:1/100

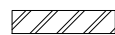
- 1階鉄骨梁下-頭つなぎ:105*45

- × : 下階柱105*105
- : 柱105*105
- ▣ : 半柱105*52.5
- : 土台105*105



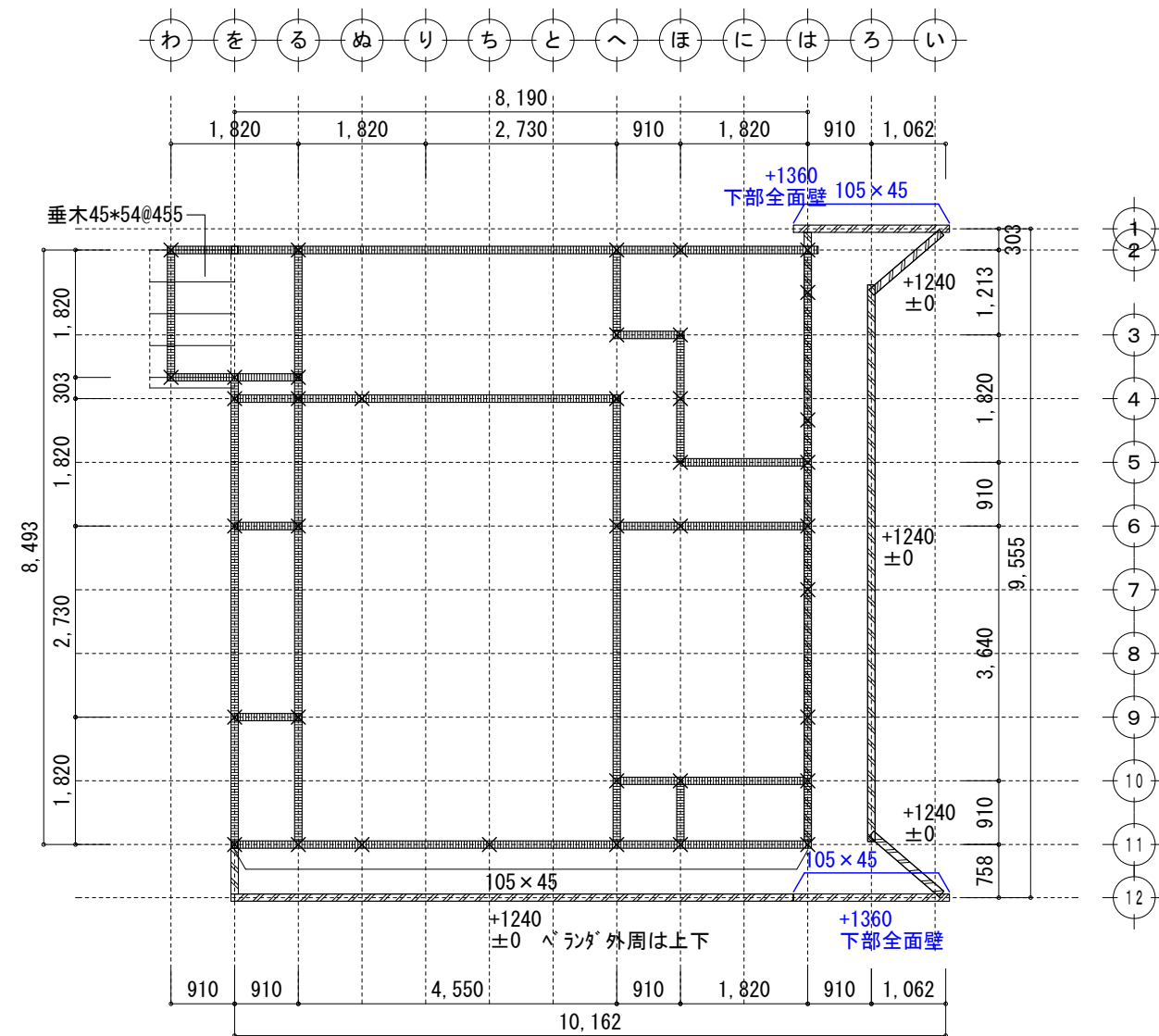


2階スラブ上敷土台:105*45



2階 床伏図 S:1/100

- × : 下階柱105*105
- : 柱105*105
- ▣ : 半柱105*52.5
- : 土台105*105



2階鉄骨梁下-頭つなぎ:105*45



2階 小屋伏図 (鉄骨梁下) S:1/100

- × : 下階柱105*105
- : 柱105*105
- ▣ : 半柱105*52.5
- : 土台105*105



安曇野市

担当

工事名称

令和7年度 安曇野市消防団 第6分団第1部旧詰所 解体工事

図面名称

2階 木造床・小屋伏図

NO.

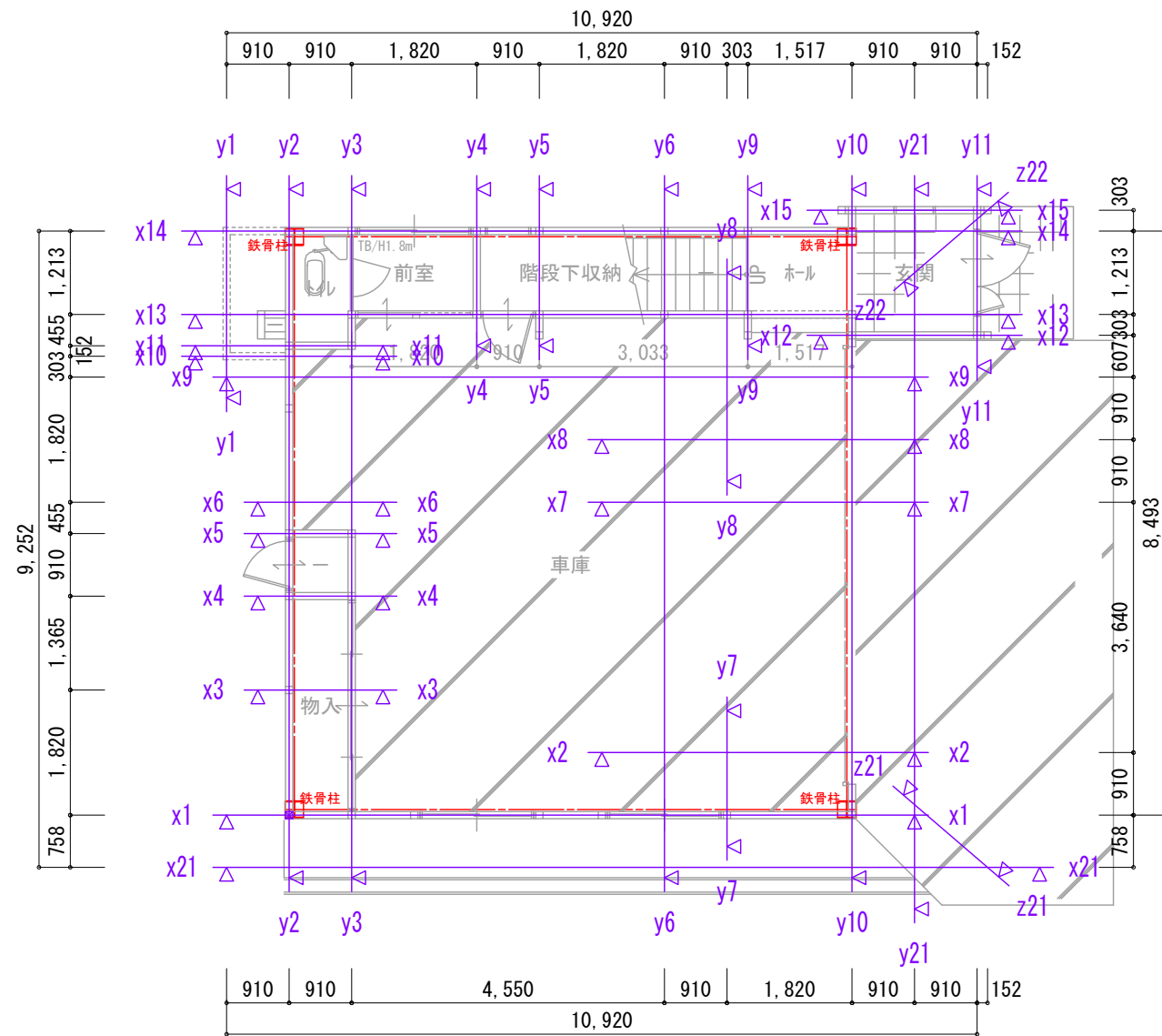
縮尺

A3:1/100

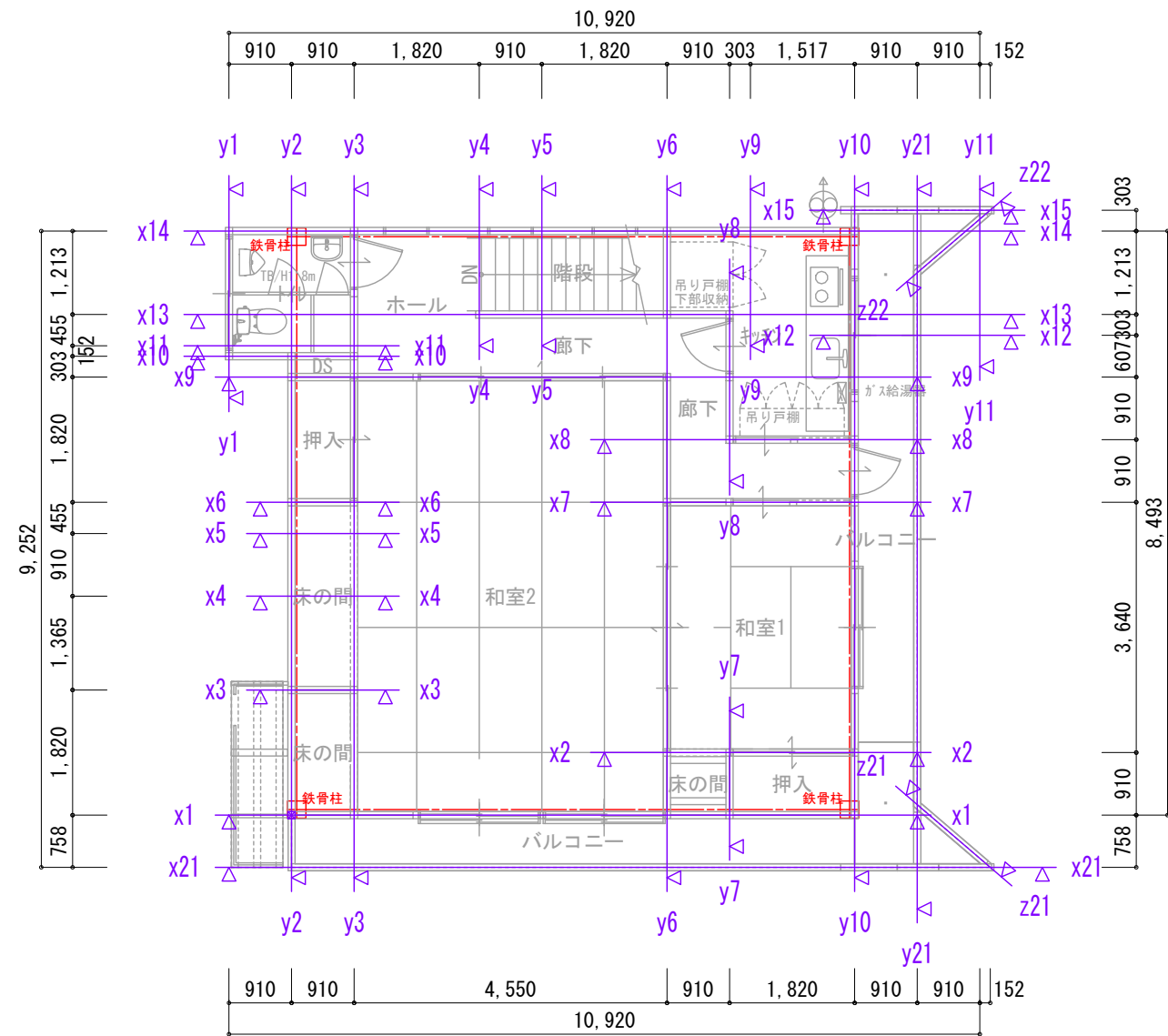
日付

2024/12/23

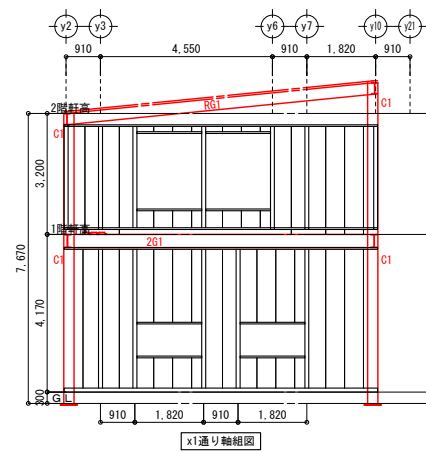
S-04



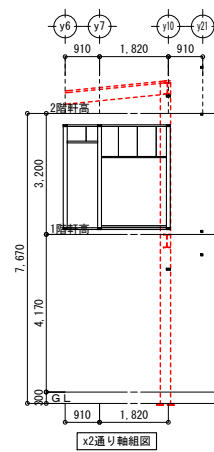
1階 軸組図用通り芯配置図 S:1/100



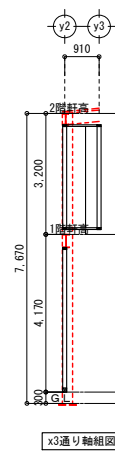
2階 軸組図用通り芯配置図 S:1/100



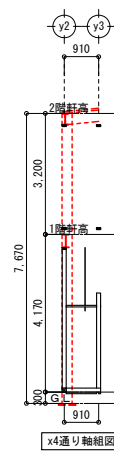
x1通り軸組図



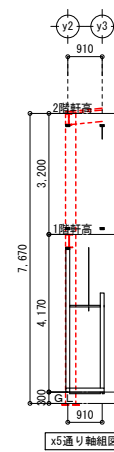
x2通り軸組図



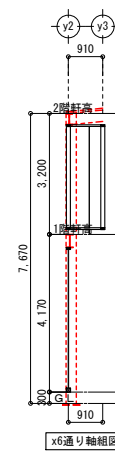
x3通り軸組図



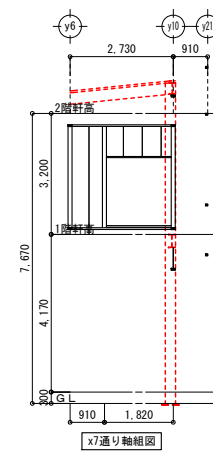
x4通り軸組図



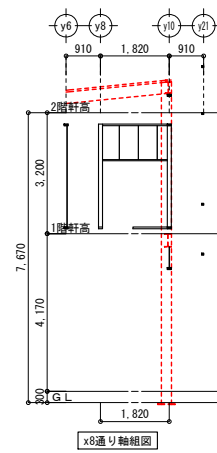
x5通り軸組図



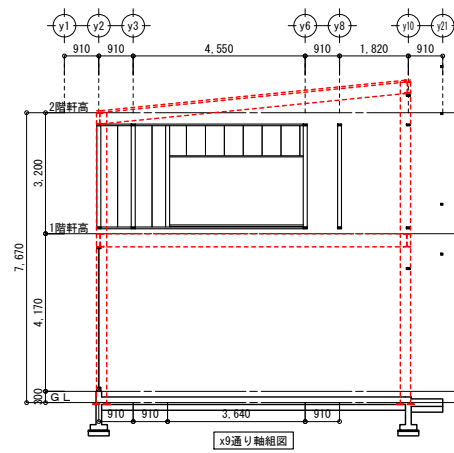
x6通り軸組図



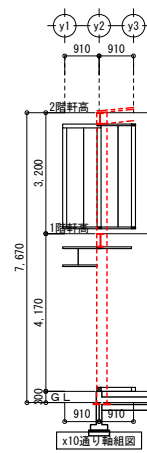
x7通り軸組図



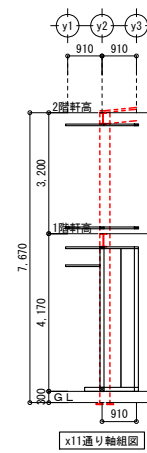
x8通り軸組図



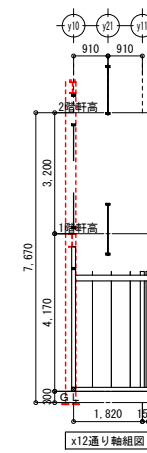
x9通り軸組図



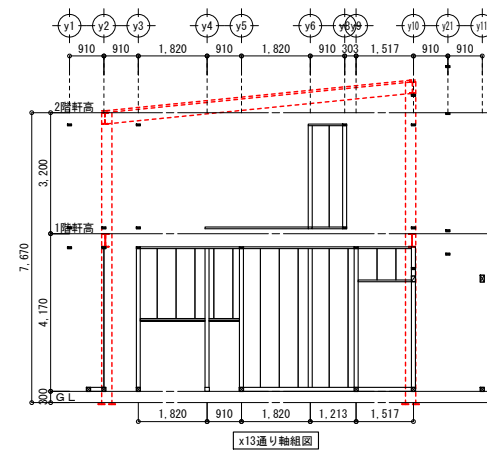
x10通り軸組図



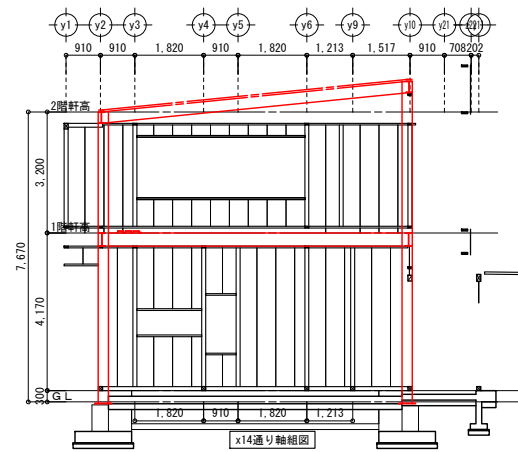
x11通り軸組図



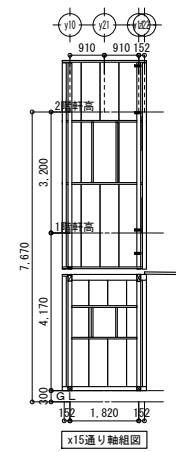
x12通り軸組図



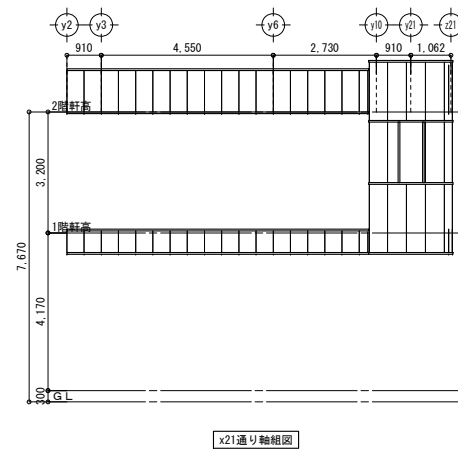
x13通り軸組図



x14通り軸組図



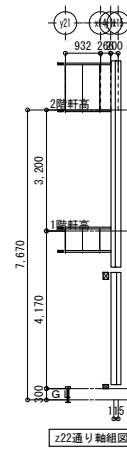
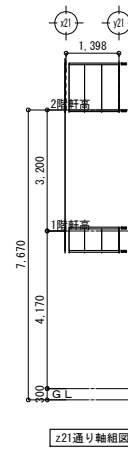
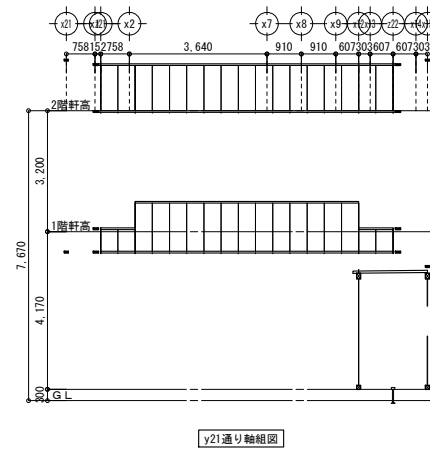
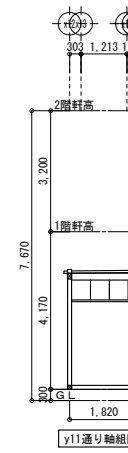
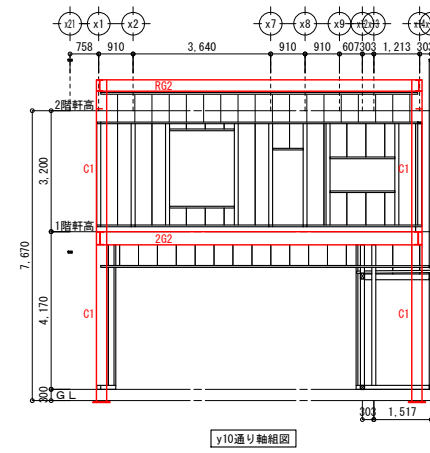
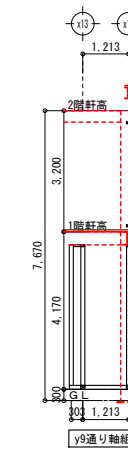
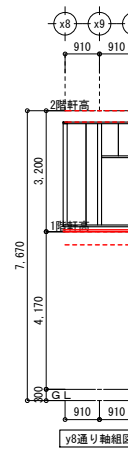
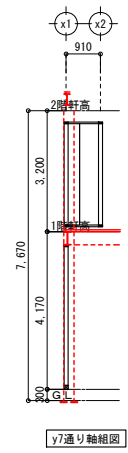
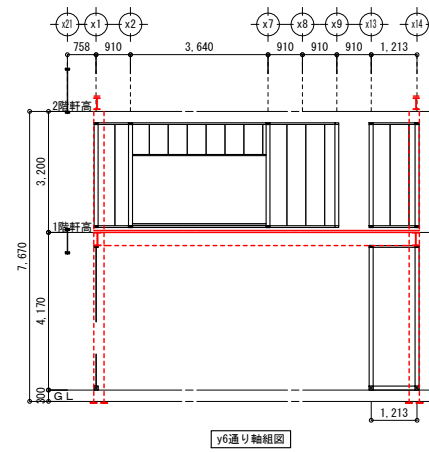
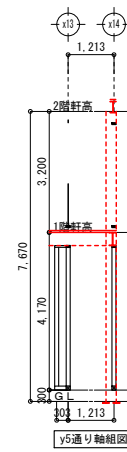
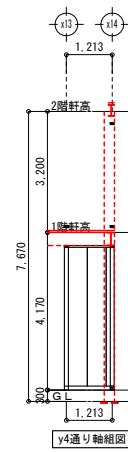
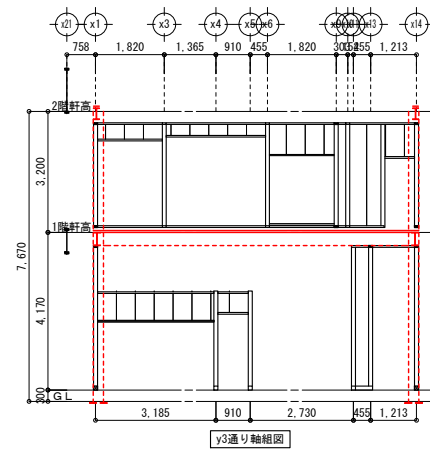
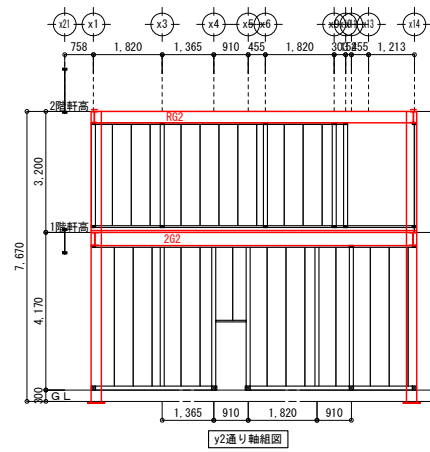
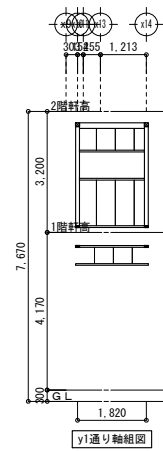
x15通り軸組図



x21通り軸組図

- 凡例
- 柱105×105
 - 窓台45×45
 - 間柱105×30
 - 土台105×105





- 凡例
- 柱105×105
 - 77 窓台45×45
 - 間柱105×30
 - 土台105×105

